

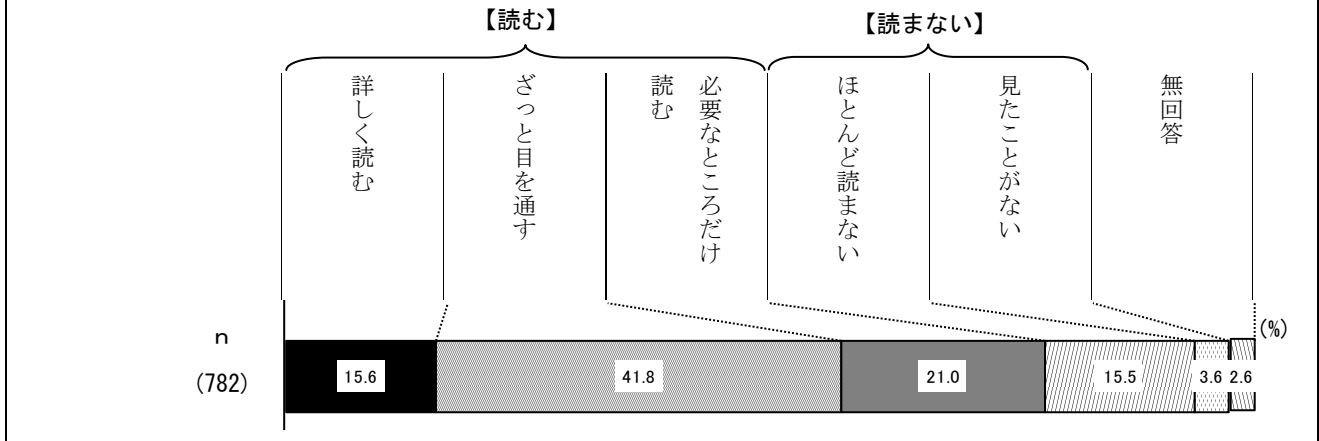
13. 広報・ホームページ

(1) 『広報ふっさ』の閲読度

◇【読む】が8割近く

問 36 市では、『広報ふっさ』、『福生市議会だより』、『福生の教育』を発行していますが、あなたはどの程度読んでいますか。下の表の(ア)から(ウ)の項目について、あてはまるものをそれぞれ1つずつ選んで番号に○をつけてください。

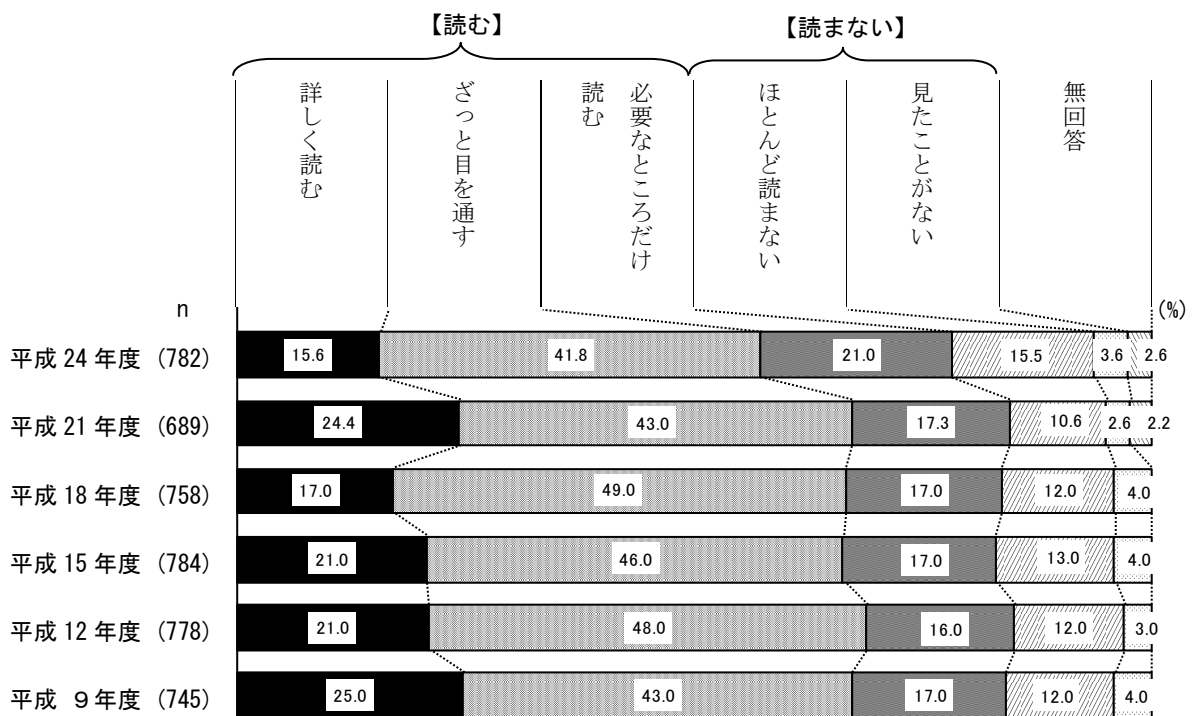
<図表 1 3 - 1> 『広報ふっさ』の閲読状況



『広報ふっさ』の閲読状況を尋ねたところ、「詳しく読む」(15.6%)、「ざっと目を通す」(41.8%)、「必要なところだけ読む」(21.0%)を合わせた【読む】(78.4%)の割合が8割近くとなっている。一方、「ほとんど読まない」(15.5%)と「見たことがない」(3.6%)を合わせた【読まない】(19.1%)は2割弱となっている。(図表 1 3 - 1)

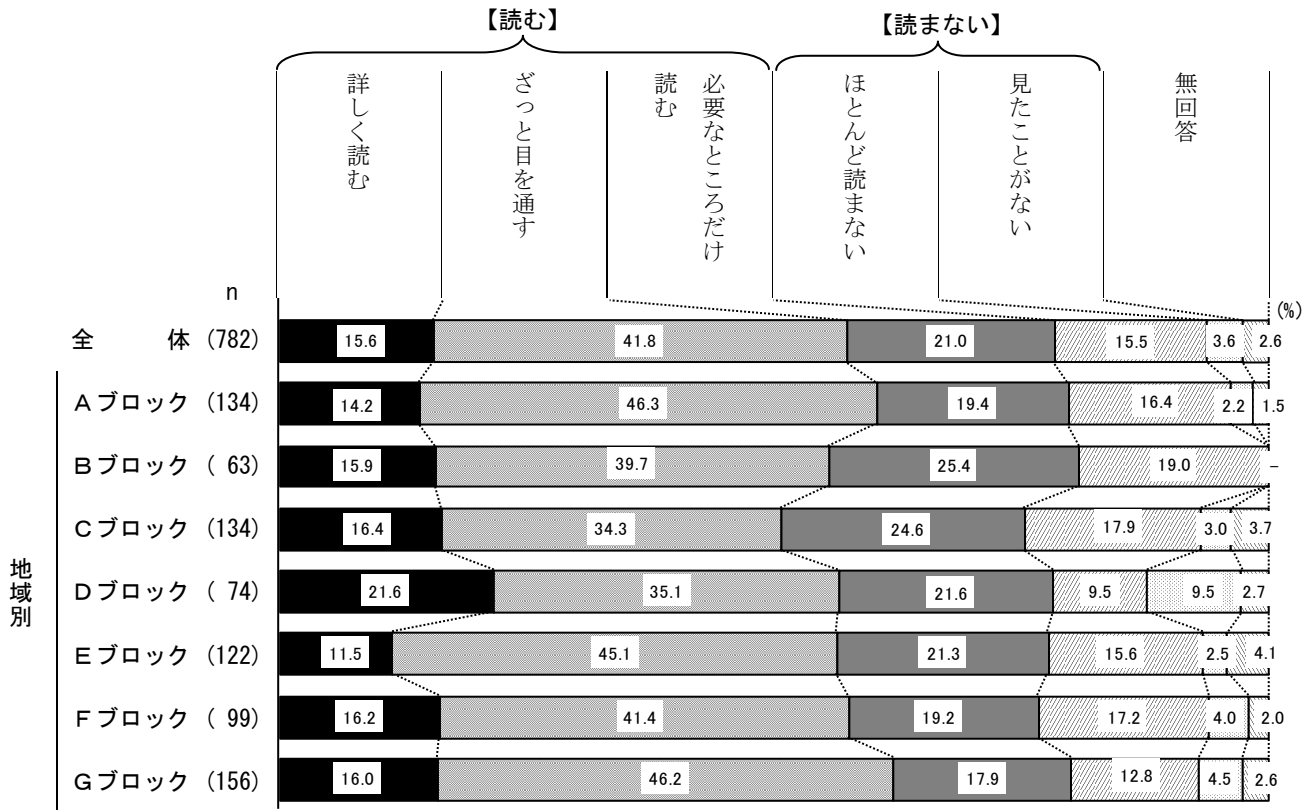
過年度調査の推移をみると「詳しく読む」の割合は、平成9年度以降、減少傾向にあり、平成21年度に増加したが、今回調査で再び減少に転じている。【読む】は平成21年度まで、ほぼ横ばいで推移していたが、今回調査で平成21年度より6.3ポイント減少している。(図表 1 3 - 2)

<図表 1 3 - 2> 『広報ふっさ』の閲読状況／過年度推移



地域別で見ると、「詳しく読む」はDブロック（21.6%）で最も高く、【読む】はBブロック（81.0%）で最も高く、次いでGブロック（80.1%）とそれぞれ8割以上となっている。【読まない】はFブロック（21.2%）でもっとも高い。（図表13-3）

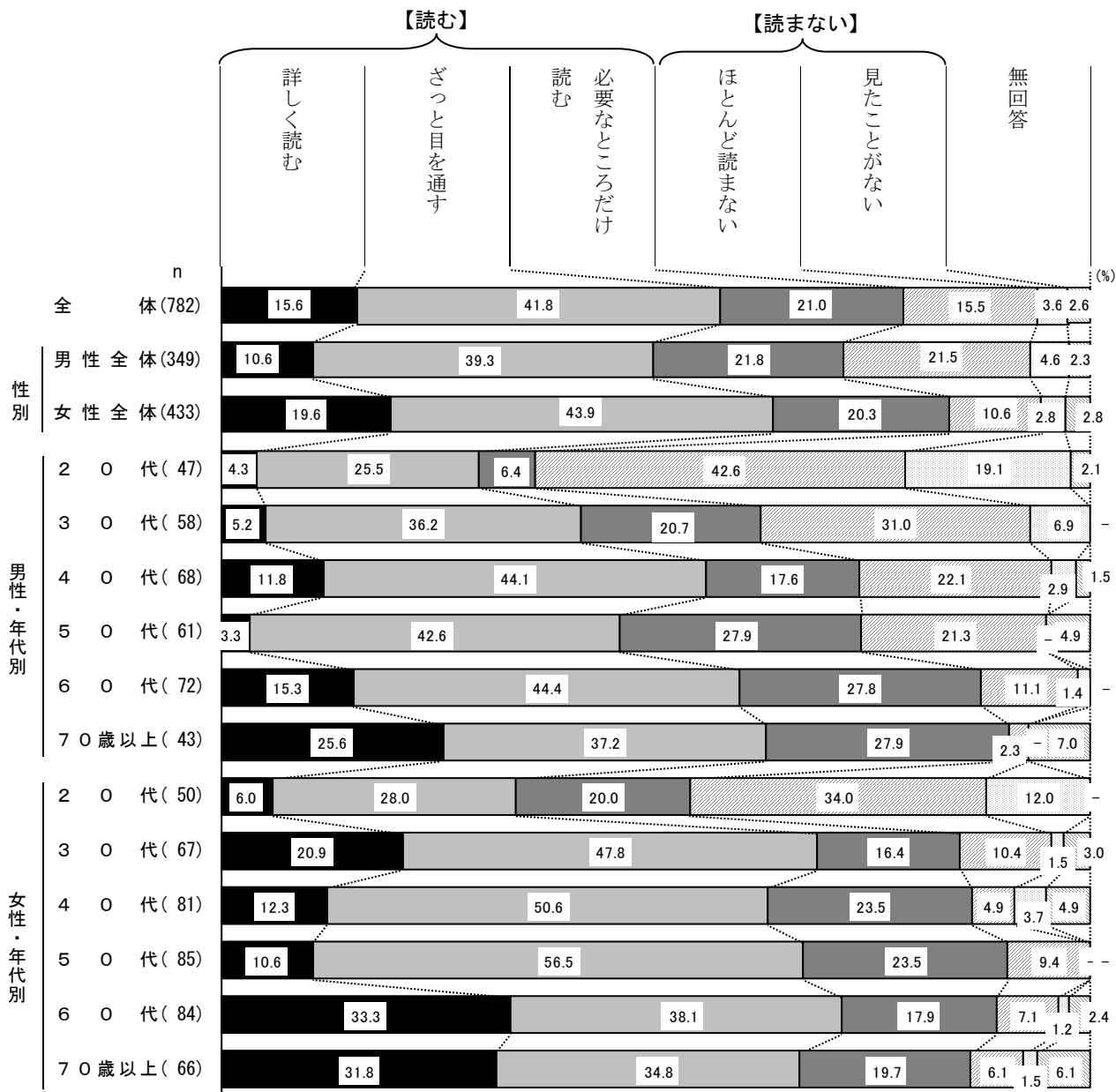
<図表13-3> 『広報ふっさ』の閲読状況／地域別



性別でみると、【読む】は女性全体（83.8%）が男性全体（71.7%）より12.1ポイント高くなっている。

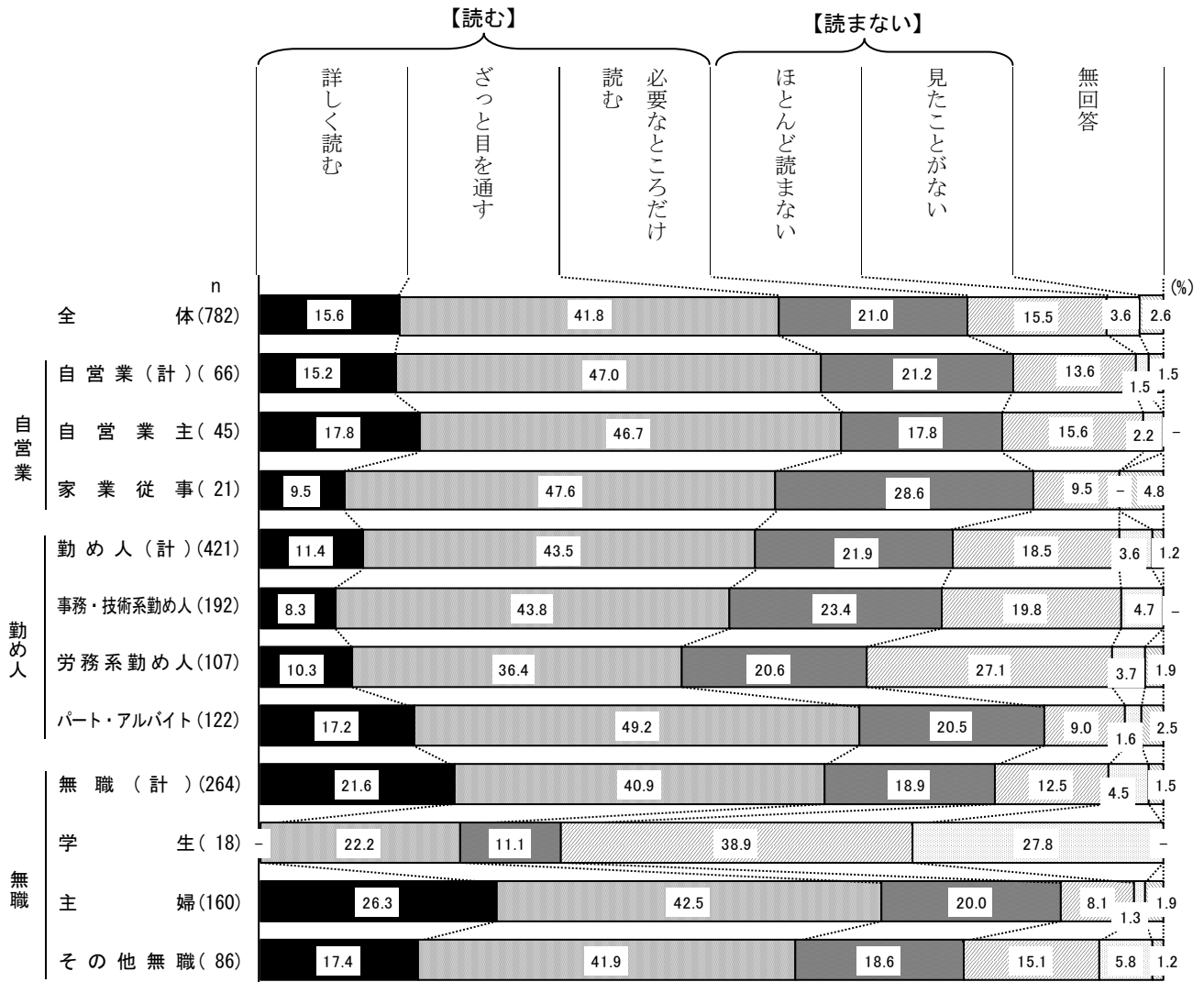
性・年代別でみると、「詳しく読む」は女性の60代（33.3%）、70歳以上（31.8%）の順に高く、それぞれ3割以上となっている。【読む】は男性の70歳以上（90.7%）、女性の50代（90.6%）で約9割と高くなっており、女性では30代以上の全ての年代で8割以上となっている。一方、【読まない】は男女ともに20代（男性：61.7%、女性：46.0%）で最も高くなっている。（図表13-4）

＜図表13-4＞『広報ふっさ』の読読状況／性別、性・年代別



職業別でみると、【読む】の割合は、自営業（計）（83.4%）が8割台半ば近く、無職（計）（81.4%）が8割強、勤め人（計）（76.8%）が7割台半ばを超えている。【読まない】は学生（66.7%）で最も高くなっている。（図表13-5）

<図表13-5> 『広報ふっさ』の閲読状況／職業別

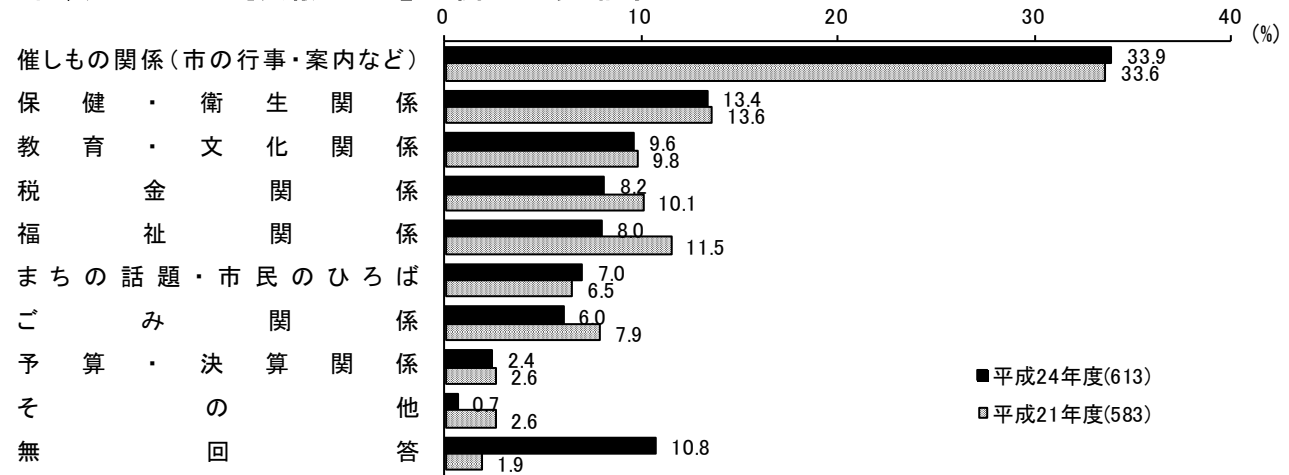


(2) 『広報ふっさ』で関心のある記事

◇「催しもの関係」が3割台半ば近く

問 36-2 問 36 (ア) 広報ふっさで「3 必要のところだけ読む」、「4 ざっと目を通す」、「5 詳しく読む」を選んだ方にお伺いします。主にどのような内容に関心を持って読まれますか。次の中から1つだけ選んでください。

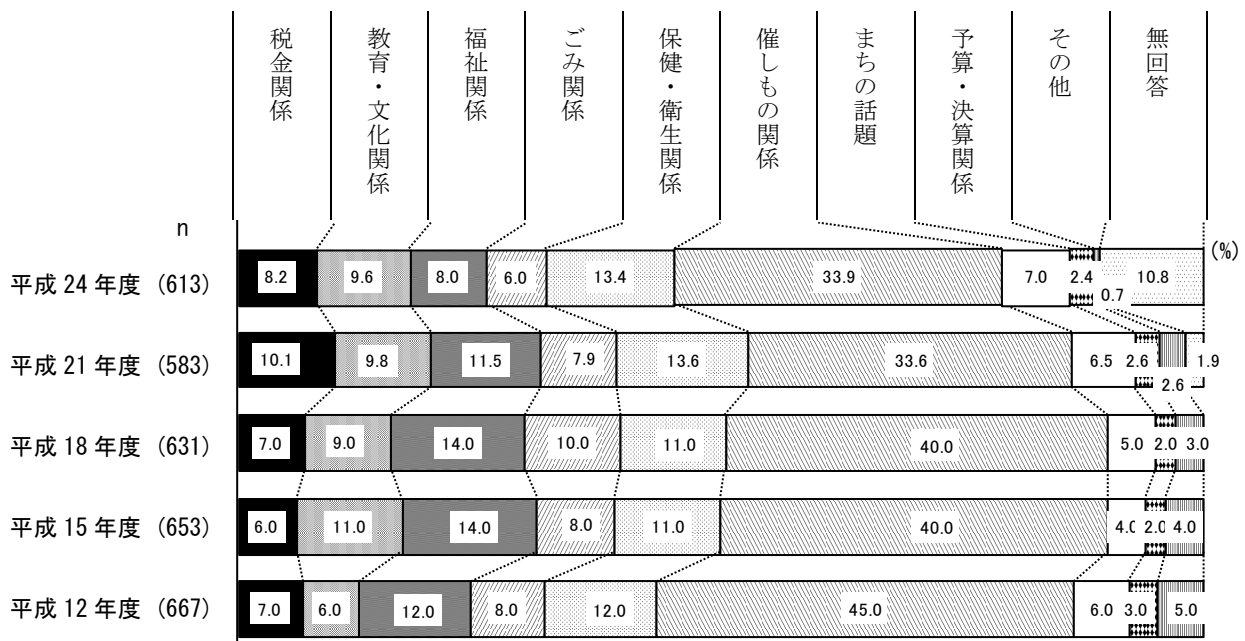
<図表 1 3 - 6> 『広報ふっさ』で関心のある記事



問36『(ア) 広報ふっさ』で「詳しく読む」、「ざっと目を通す」、「必要のところだけ読む」を選んだ人に関心のある記事を尋ねたところ、「催しもの関係」(33.9%)が最も高く、3割台半ば近くとなっている。次いで「保健・衛生関係」(13.4%)、「教育・文化関係」(9.6%)、「税金関係」(8.2%)と続く。(図表 1 3 - 6)

平成12年度からの調査結果の推移をみると、大きな変化はみられないが、「福祉関係」、「ごみ関係」で若干の減少がみられる。(図表 1 3 - 7)

<図表 1 3 - 7> 『広報ふっさ』で関心のある記事／過年度推移

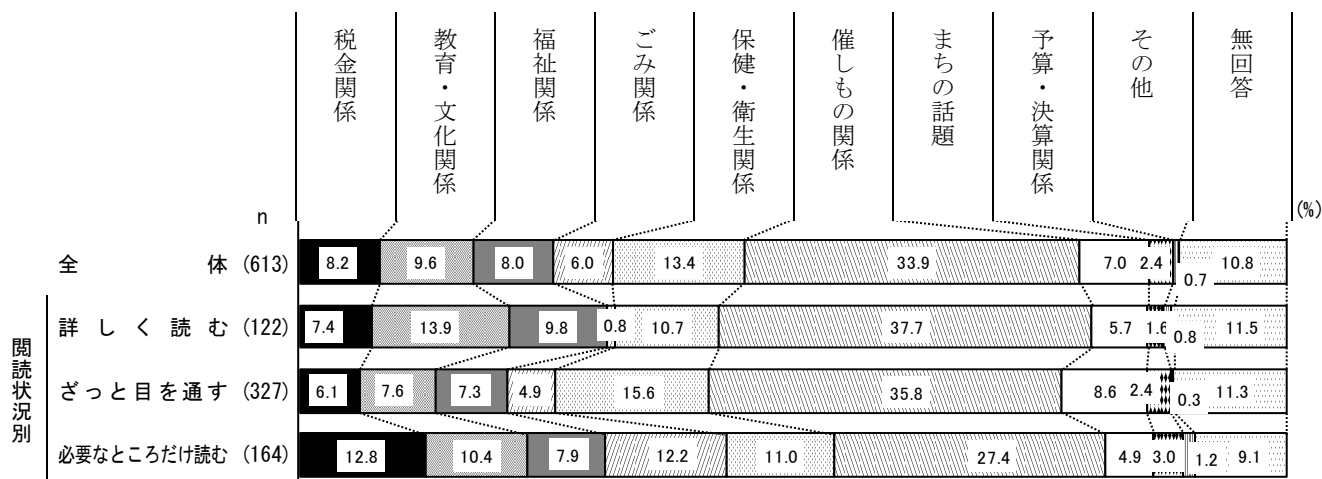


※平成 12 年から平成 18 年の「市の大きな行事」は「催しもの関係」に含める

『広報ふっさ』の閲読状況別でみると、「催し物関係」は「必要なところだけ読む」(27.4%)で他の閲読状況より低くなっている。「税金関係」、「ごみ関係」は「必要なところだけ読む」で最も高く、「教育・文化関係」は「詳しく読む」で、「保健・衛生関係」は「ざっと目を通す」で最も高くなっている。

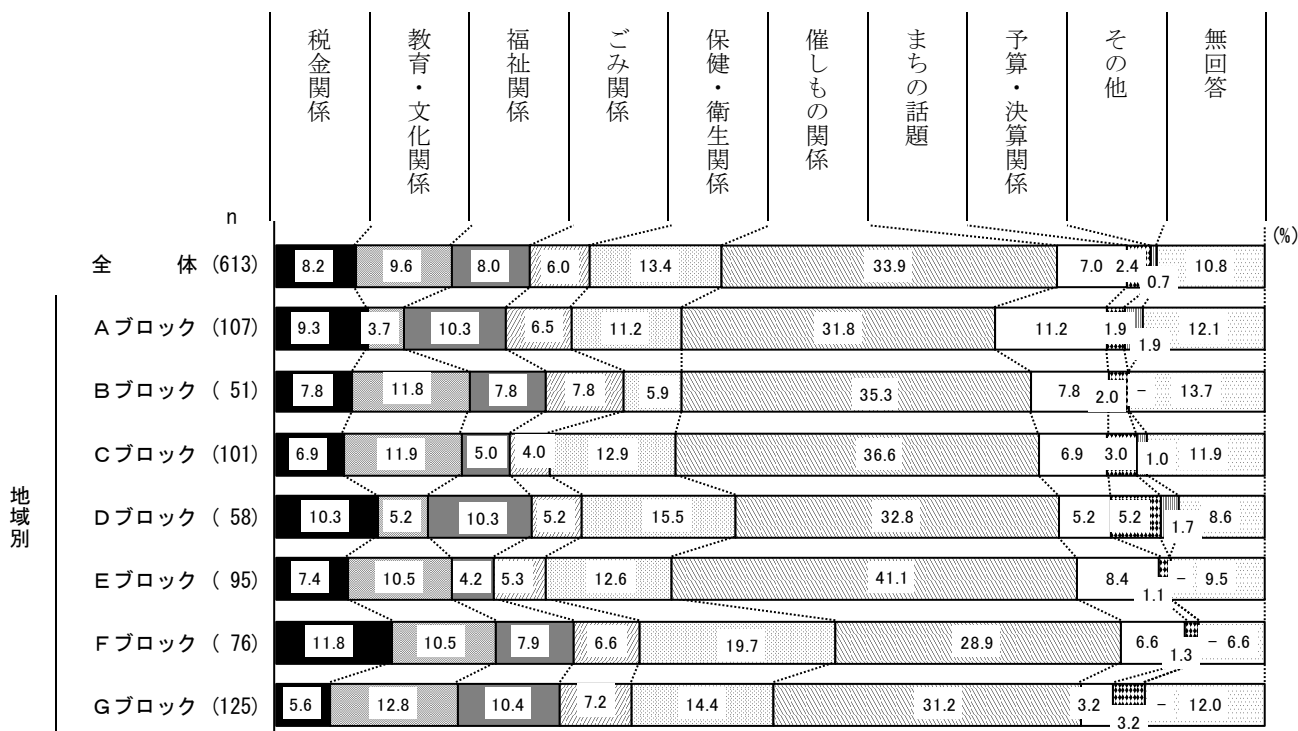
(図表13-8)

<図表13-8> 『広報ふっさ』で関心のある記事／閲読状況別



地域別でみると、「催し物関係」はEブロック (41.1%)で最も高く、4割強となっており、「保健・衛生関係」はFブロック (19.7%)で最も高くなっている。(図表13-9)

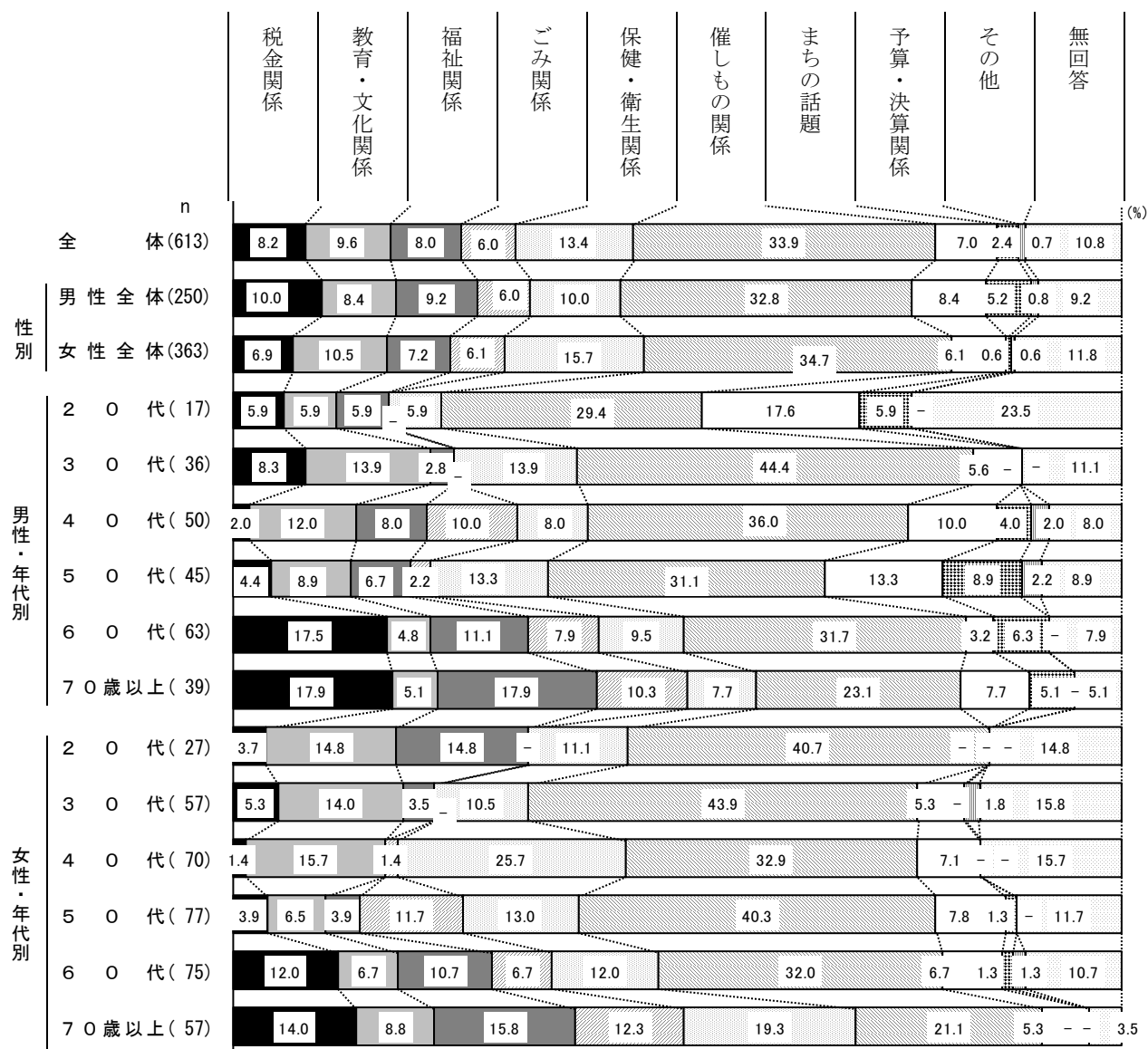
<図表13-9> 『広報ふっさ』で関心のある記事／地域別



性別でみると、「保健・衛生関係」は女性全体（15.7%）が男性全体（10.0%）より5.7ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、「福祉関係」は男性の60代以上、女性の20代と60代以上の年代で1割以上となっており、他の年代と比べて高くなっている。「税金関係」は男女ともに60代以上の年代で高くなっている。「保健・衛生関係」は女性の40代（25.7%）で最も高くなっている。（図表13-10）

<図表13-10> 『広報ふっさ』で関心のある記事／性別、性・年代別

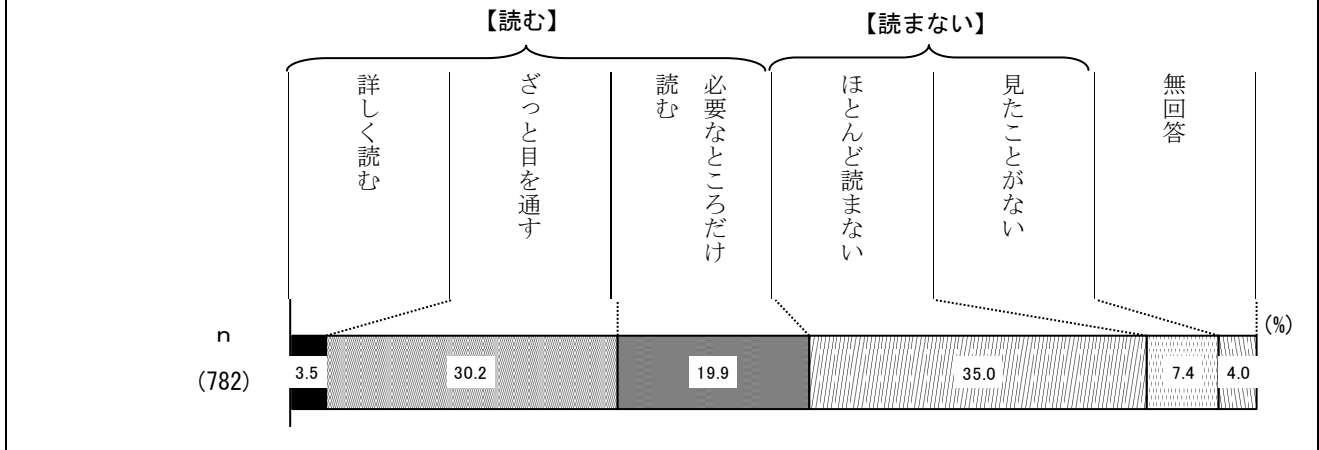


(3) 『福生市議会だより』の閲読度

◇【読む】が5割台半ば近く、【読まない】は4割強

問 36 市では、『広報ふっさ』、『福生市議会だより』、『福生の教育』を発行していますが、あなたはどの程度読んでいますか。下の表の(ア)から(ウ)の項目について、あてはまるものをそれぞれ1つずつ選んで番号に○をつけてください。

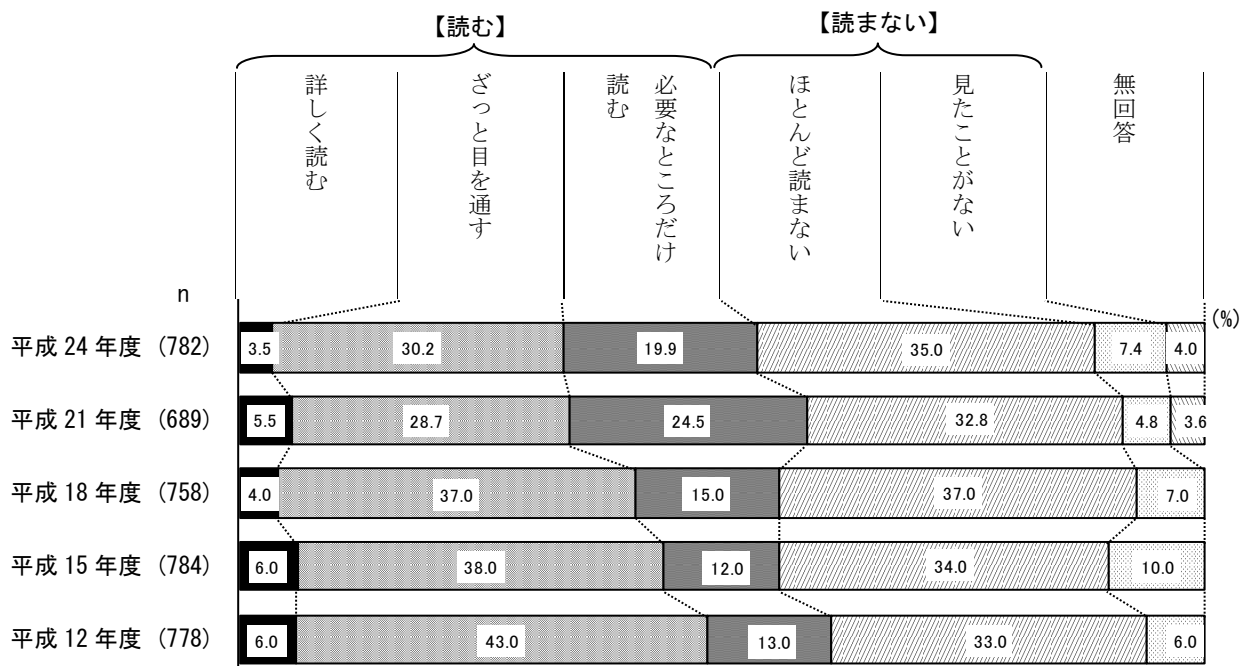
<図表 1 3 - 1 1> 『福生市議会だより』の閲覧状況



『福生市議会だより』の閲読状況について尋ねたところ、「詳しく読む」(3.5%)、「ざっと目を通す」(30.2%)、「必要なところだけ読む」(19.9%)を合わせた【読む】(53.6%)の割合が5割台半ば近くとなっている。一方、「ほとんど読まない」(35.0%)と「見たことがない」(7.4%)を合わせた【読まない】(42.4%)は4割強となっている。(図表 1 3 - 1 1)

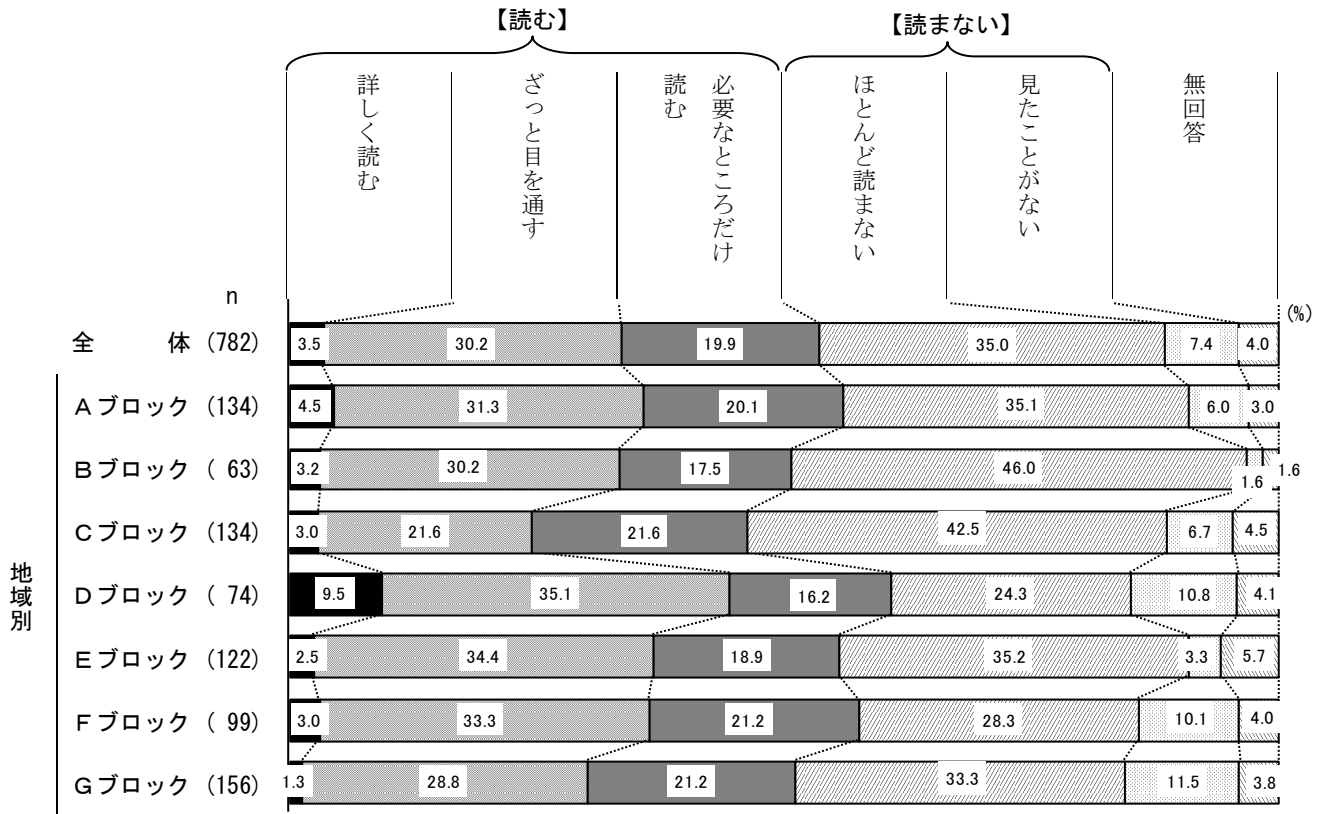
過年度調査の推移をみると、「ざっと目を通す」は平成21年度と比較すると増加しているが、平成12年度からみると減少傾向にある。「必要なところだけ読む」は平成21年度と比較すると減少しているが、平成12年度からみると増加傾向にある。【読まない】は平成21年度と比較すると4.8ポイント増加している。(図表 1 3 - 1 2)

<図表 1 3 - 1 2> 『福生市議会だより』の閲覧状況／過年度推移



地域別で見ると、【読む】はDブロック（60.8%）で最も高く、約6割となっている。【読まない】はCブロック（49.2%）で最も高く、5割弱となっている。（図表13-13）

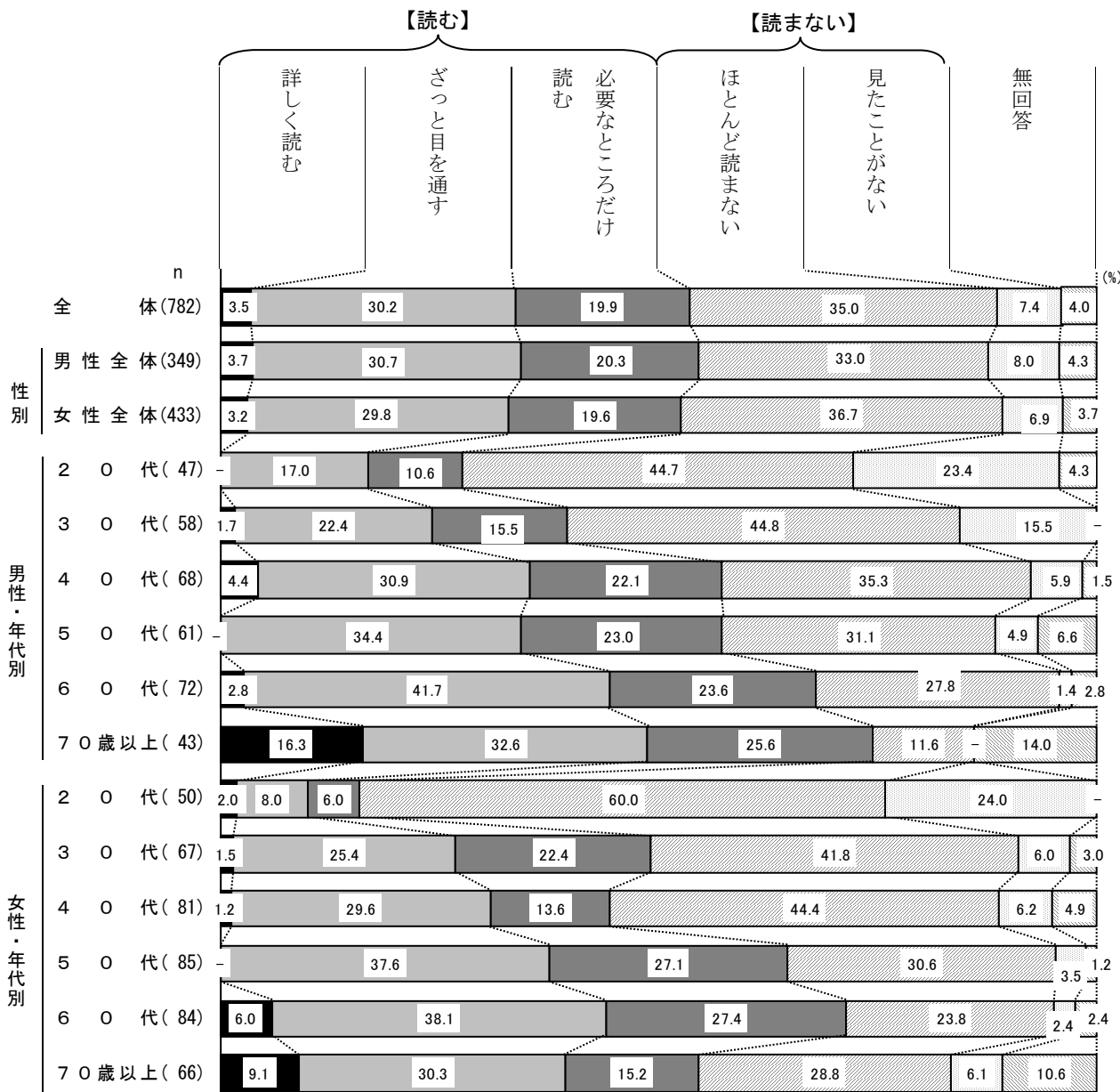
<図表13-13> 『福生市議会だより』の閲覧状況／地域別



性別でみると、男女で大きな差異はみられない。

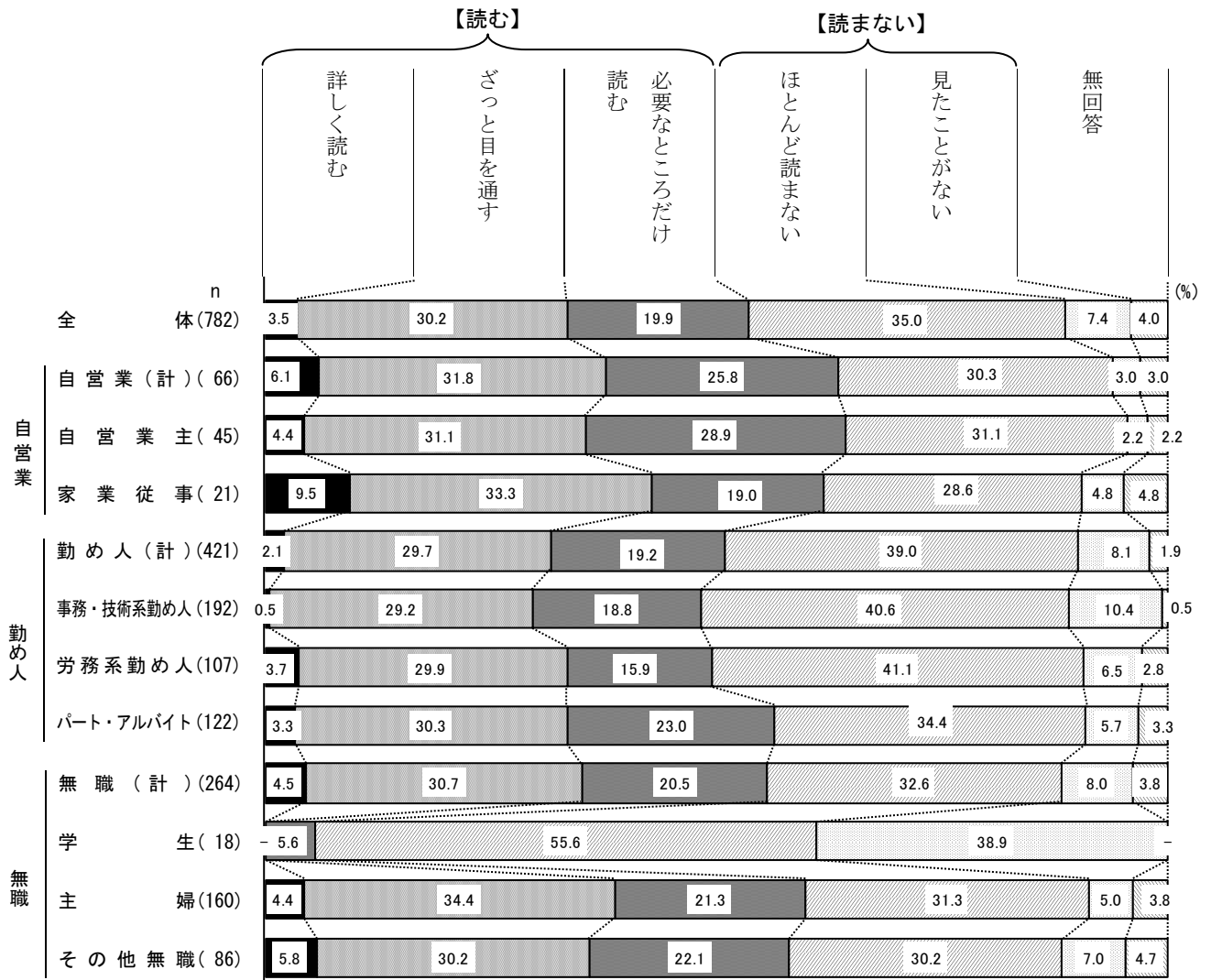
性・年代別でみると、「ざっと目を通す」、「必要のところだけ読む」は年代が高い層になるにつれて高くなる傾向がみられ、「ほとんど読まない」、「見たことがない」は年代が若い層になるにつれて高くなる傾向がみられる。「ほとんど読まない」、「見たことがない」は、男女ともに20代で最も高く、女性の20代では、「ほとんど読まない」が6割となっている。【読む】は男性の70歳以上（74.5%）で最も高く、【読まない】は女性の20代（84.0%）で最も高くなっている。（図表13-14）

＜図表13-14＞『福生市議会だより』の閲覧状況／性別、性・年代別



職業別にみると、【読む】は、自営業（計）（63.7%）、勤め人（計）（51.0%）、無職（計）（55.7%）となっており、自営業では全ての職業で6割以上となっている。【読まない】は、学生（94.5%）で最も高く、9割台半ば近くとなっている。（図表13-15）

<図表13-15> 『福生市議会だより』の閲覧状況／職業別

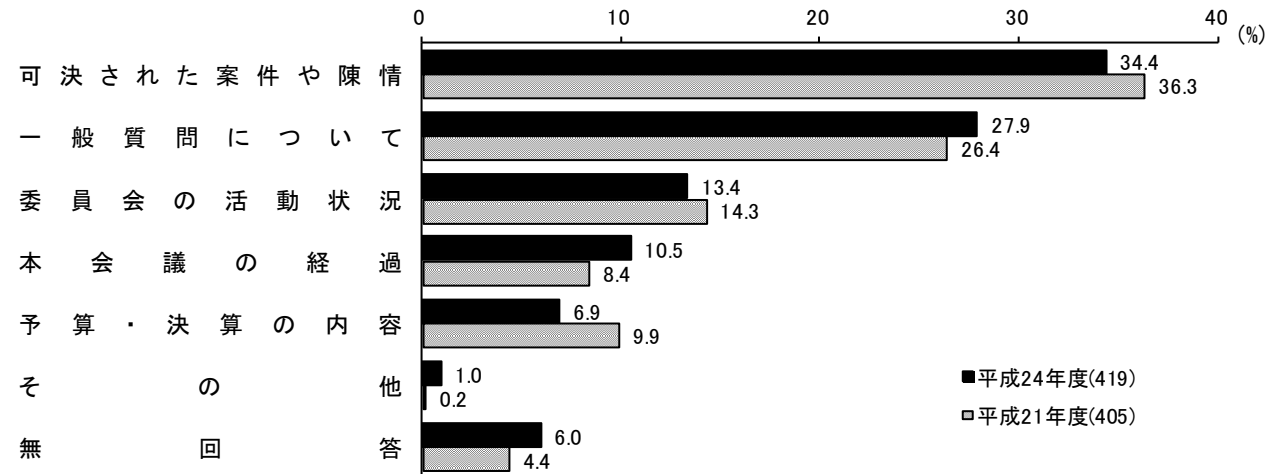


(4) 『福生市議会だより』で関心のある記事

◇「可決された案件や陳情」が3割台半ば近く

問 36-3 問 36 (イ) 福生市議会だよりで「3必要なところだけ読む」、「4ざっと目を通す」、「5詳しく読む」を選んだ方にお伺いします。主にどのような内容に関心を持って読まれますか。次の中から1つだけ選んでください。

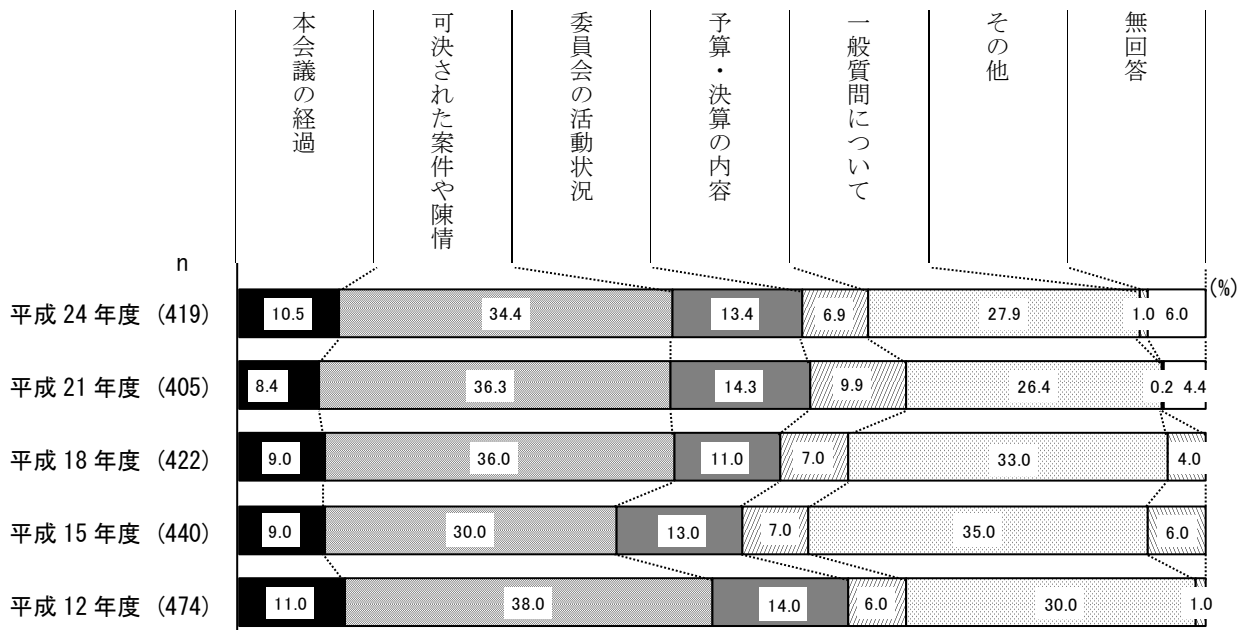
<図表 1 3 - 1 6> 『福生市議会だより』で関心のある記事



問36で『(イ) 福生市議会だより』を「詳しく読む」、「ざっと目を通す」、「必要なところだけ読む」と答えた方に関心のある記事を尋ねたところ、「可決された案件や陳情」(34.4%)が最も高く、3割台半ば近くとなっている。次いで「一般質問について」(27.9%)、「委員会の活動状況」(13.4%)、「本会議の経過」(10.5%)となっている。(図表 1 3 - 1 6)

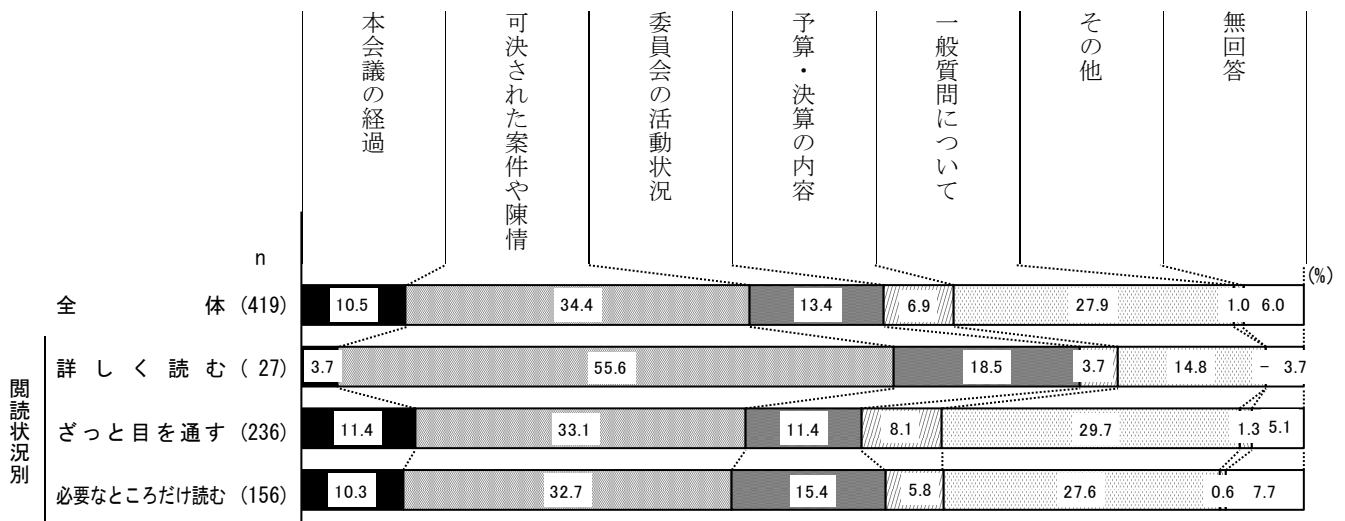
過年度の調査結果と比較すると、大きな変化はみられない。(図表 1 3 - 1 7)

<図表 1 3 - 1 7> 『福生市議会だより』で関心のある記事／過年度推移



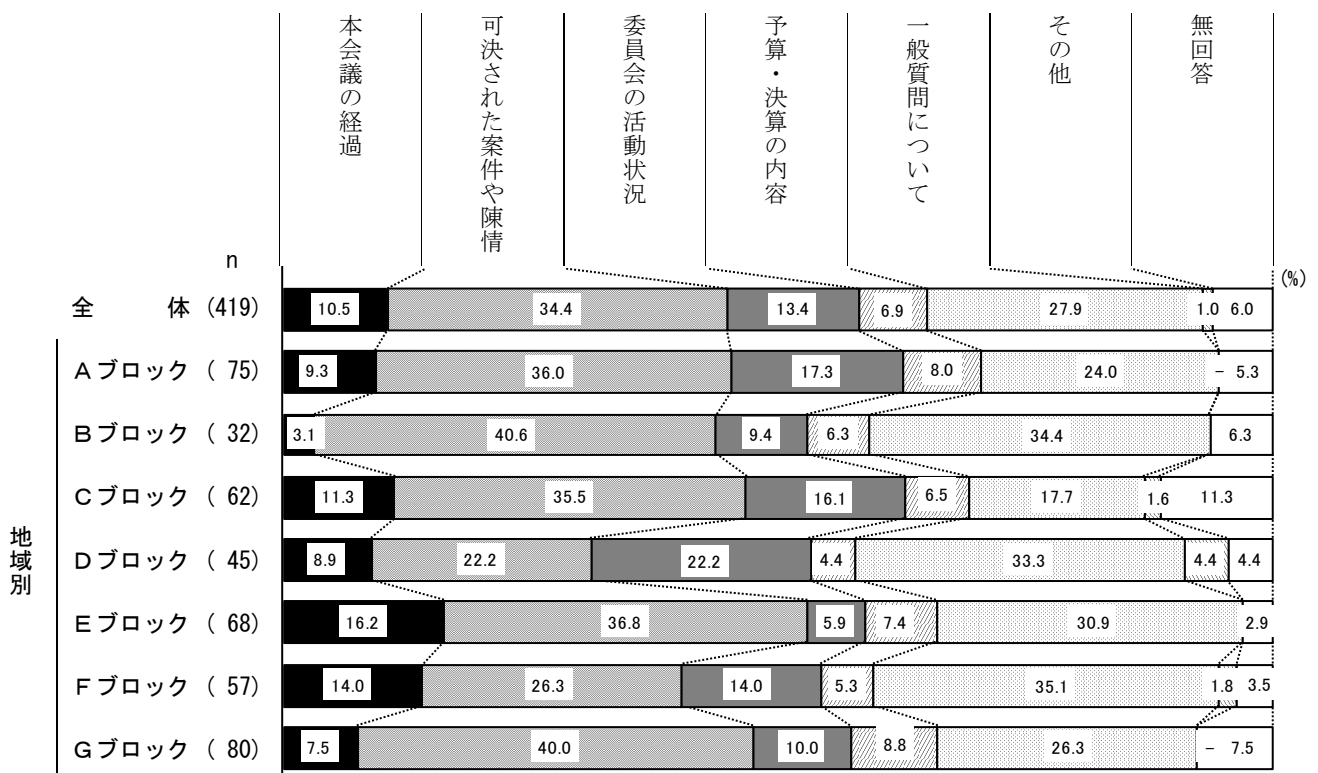
『福生市議会だより』の閲読状況別でみると、「可決された案件や陳情」は「詳しく読む」(55.6%)で最も高く、5割半ばとなっている。「一般質問について」は「ざっと目を通す」(29.7%)が最も高く、次いで「必要のところだけ読む」(27.6%)となっている。(図表13-18)

＜図表13-18＞『福生市議会だより』で関心のある記事／閲読状況別



地域別でみると、「可決された案件や陳情」はBブロック(40.6%)、Gブロック(40.0%)で4割以上となっている。「一般質問について」はFブロック(35.1%)、Bブロック(34.4%)、Dブロック(33.3%)、Eブロック(30.9%)の順に高く、それぞれ3割以上となっている。「委員会の活動状況」はDブロック(22.2%)で最も高い。(図表13-19)

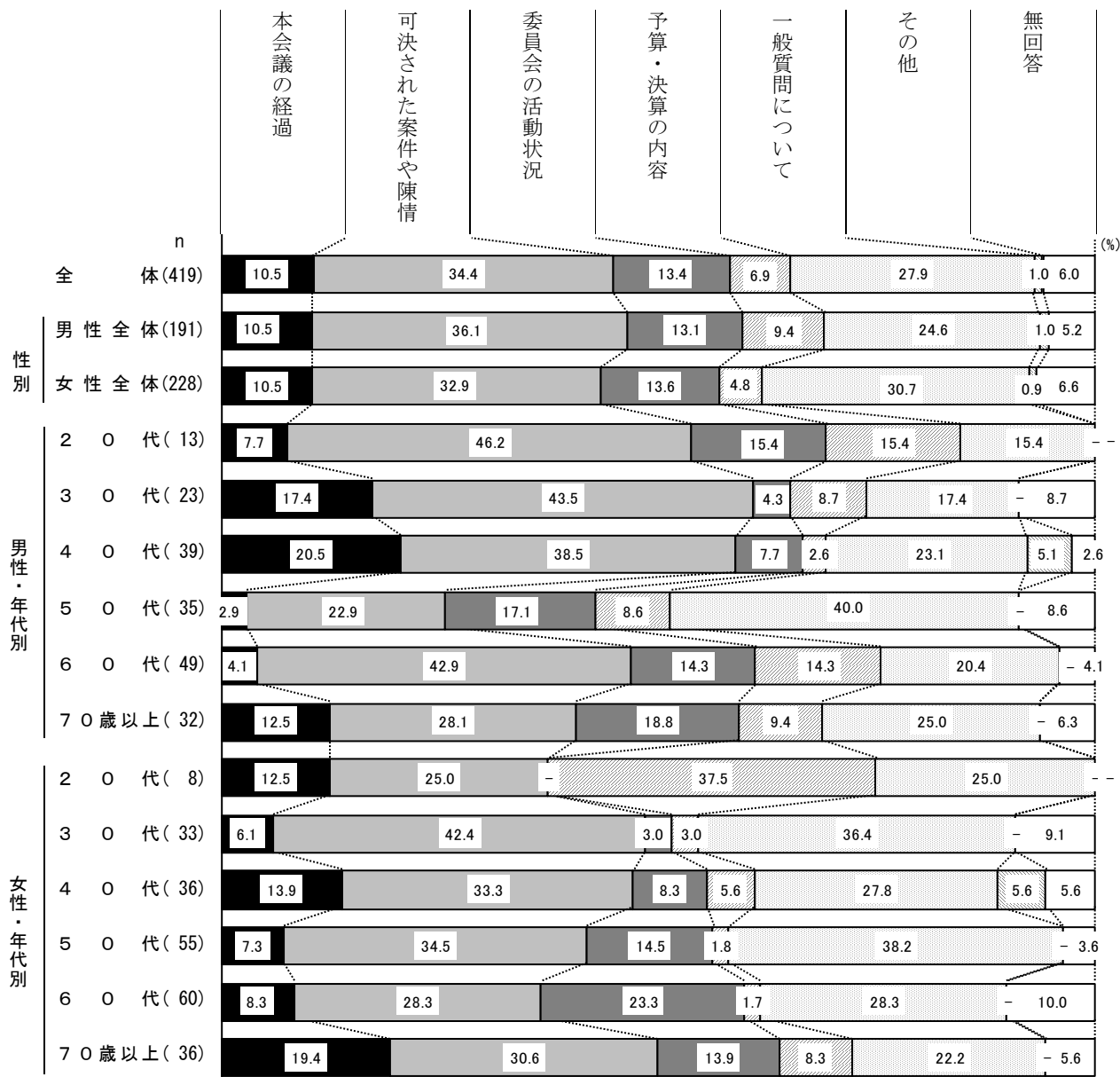
＜図表13-19＞『福生市議会だより』で関心のある記事／地域別



性別でみると、特に大きな差異はみられない「一般質問について」は女性全体（30.7%）が男性全体（24.6%）より6.1ポイント、「予算・決算の内容」は男性全体（9.4%）が女性全体（4.8%）より4.6ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、「可決された案件や陳情」は男性の20代（46.2%）で最も高く、次いで男性の30代（43.5%）、60代（42.9%）、女性の30代（42.4%）で4割以上となっている。「一般質問について」は、男性の50代（40.0%）で最も高い。（図表13-20）

＜図表13-20＞『福生市議会だより』で関心のある記事／性別、性・年代別

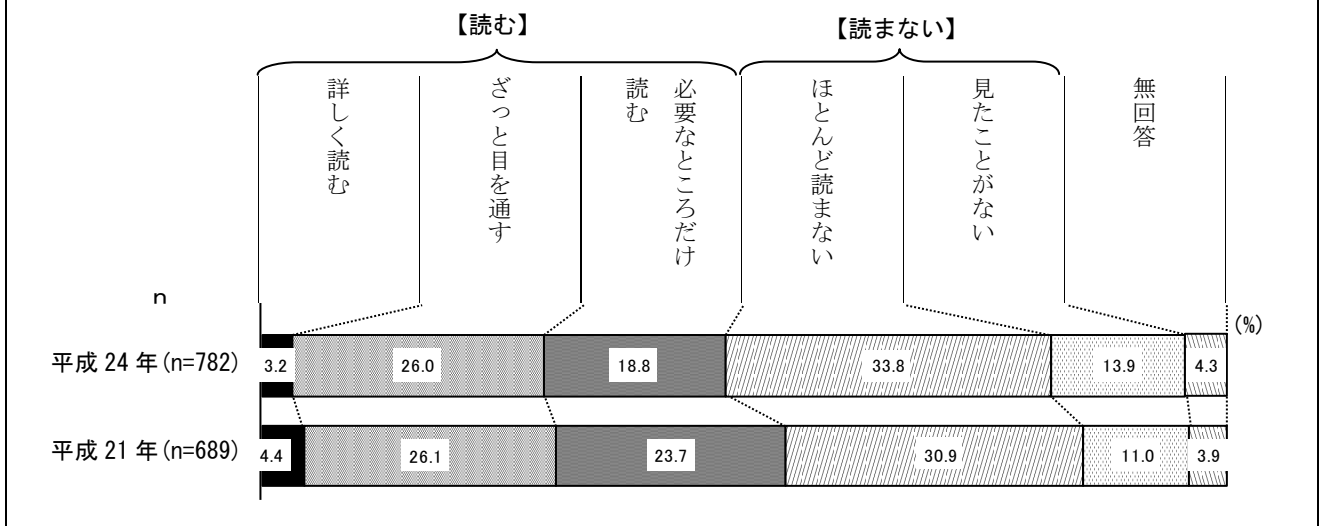


(5) 『福生の教育』の閲読度

◇【読む】が5割近く、【読まない】は4割台半ばを超える

問 36 市では、『広報ふっさ』、『福生市議会だより』、『福生の教育』を発行していますが、あなたはどの程度読んでいますか。下の表の(ア)から(ウ)の項目について、あてはまるものをそれぞれ1つずつ選んで番号に○をつけてください。

<図表 13-21> 『福生の教育』の閲読状況

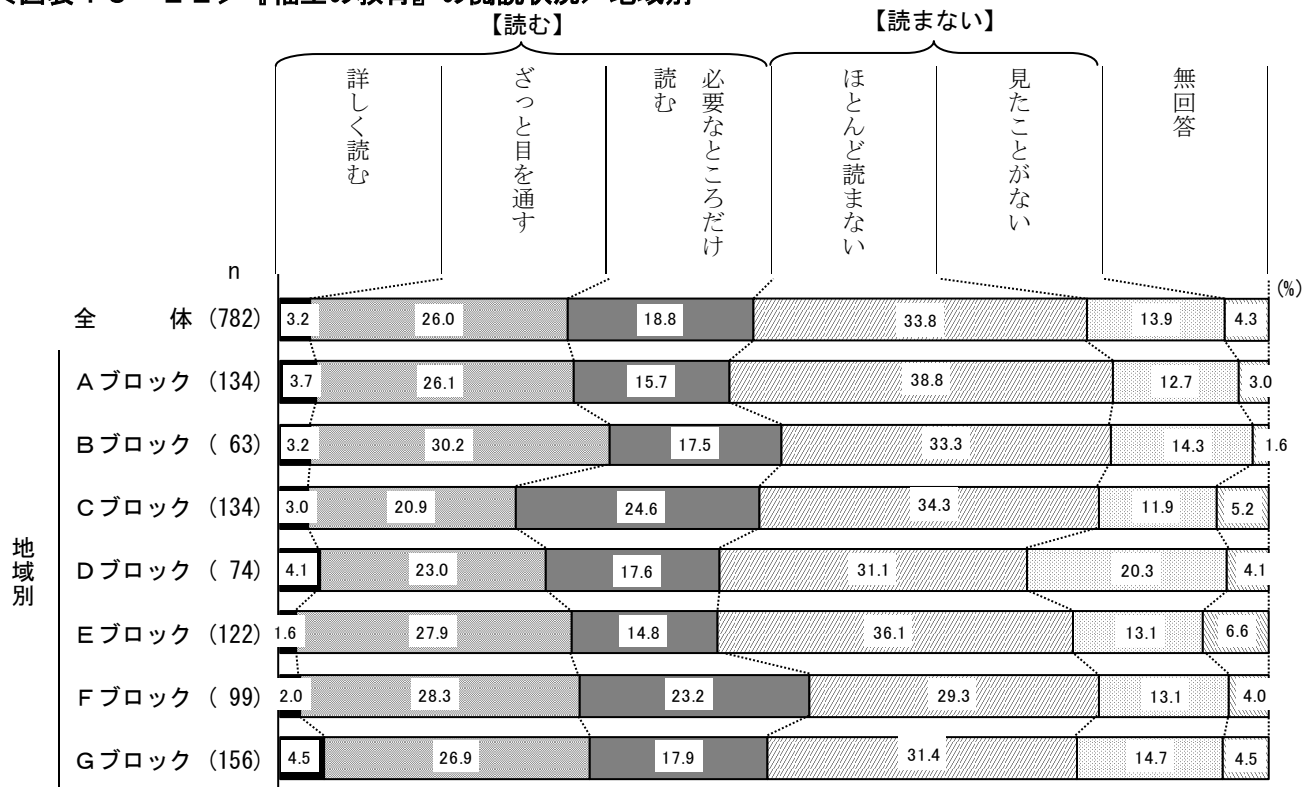


『福生の教育』の閲読状況について尋ねたところ、「詳しく読む」(3.2%)、「ざっと目を通す」(26.0%)、「必要箇所だけ読む」(18.8%)を合わせた【読む】(48.0%)の割合が5割近くとなっている。一方、「ほとんど読まない」(33.8%)、「見たことがない」(13.9%)を合わせた【読まない】(47.7%)は4割台半ばを超えている。

平成21年度の調査結果と比較すると、「必要箇所だけ読む」が4.9ポイント減少し、【読まない】が5.8ポイント増加している。(図表 13-21)

地域別でみると、【読む】はFブロック（53.5%）、Bブロック（50.9%）の順に高く、それぞれ5割以上となっている。【読まない】はAブロック（51.5%）、Dブロック（51.4%）の順に高くなっている。（図表13-22）

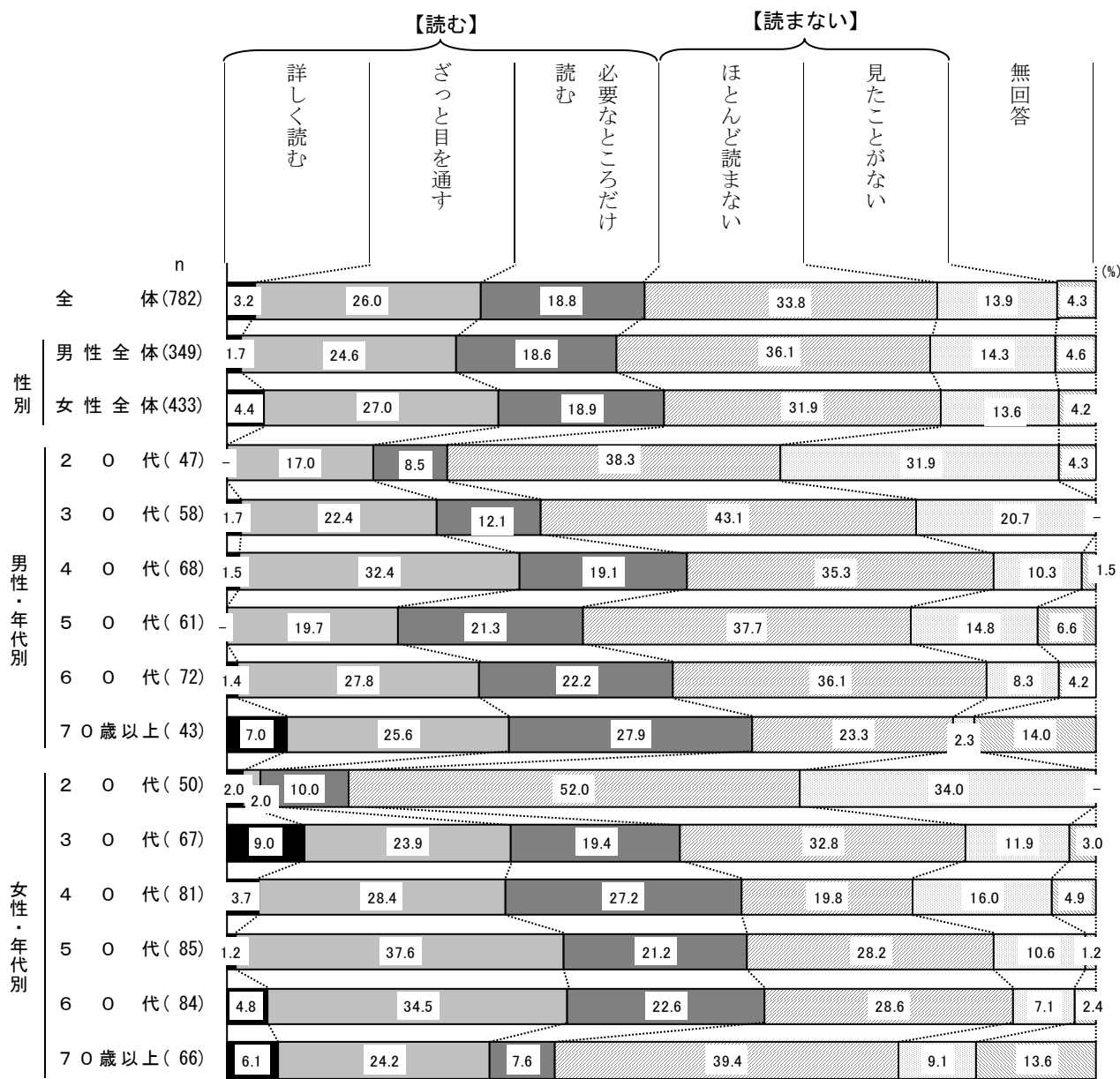
<図表13-22> 『福生の教育』の読読状況／地域別



性別でみると、【読まない】は男性全体（50.4%）が女性全体（45.5%）より4.9ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、【読む】は女性の60代（61.9%）、男性の70歳以上（60.5%）の順に高く、それぞれ6割以上となっている。【読まない】は男女ともに20代（男性：70.2%、女性：86.0%）で最も高くなっている。（図表13-23）

＜図表13-23＞『福生の教育』の読読状況／性別、性・年代別

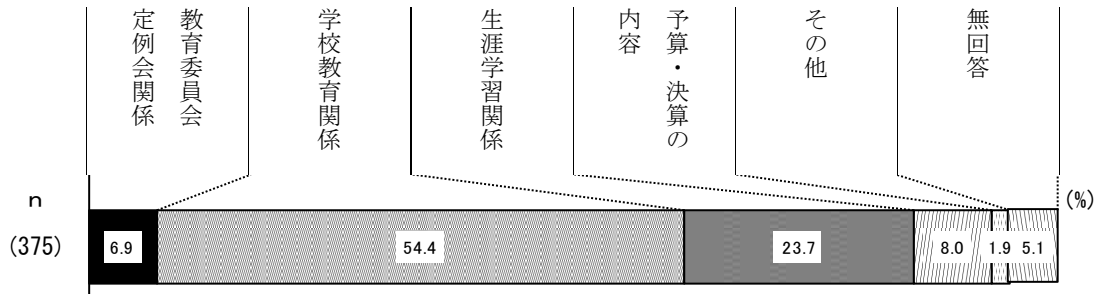


(6) 『福生の教育』で関心のある記事

◇「学校教育関係」が5割台半ば近く、「生涯学習関係」が2割台半ば近く

問 36-4 問 36 (ウ) 福生の教育で「3 必要なところだけ読む」、「4 ざっと目を通す」、「5 詳しく読む」を選んだ方にお伺いします。主にどのような内容に関心を持って読まれますか。次の中から1つだけ選んでください。

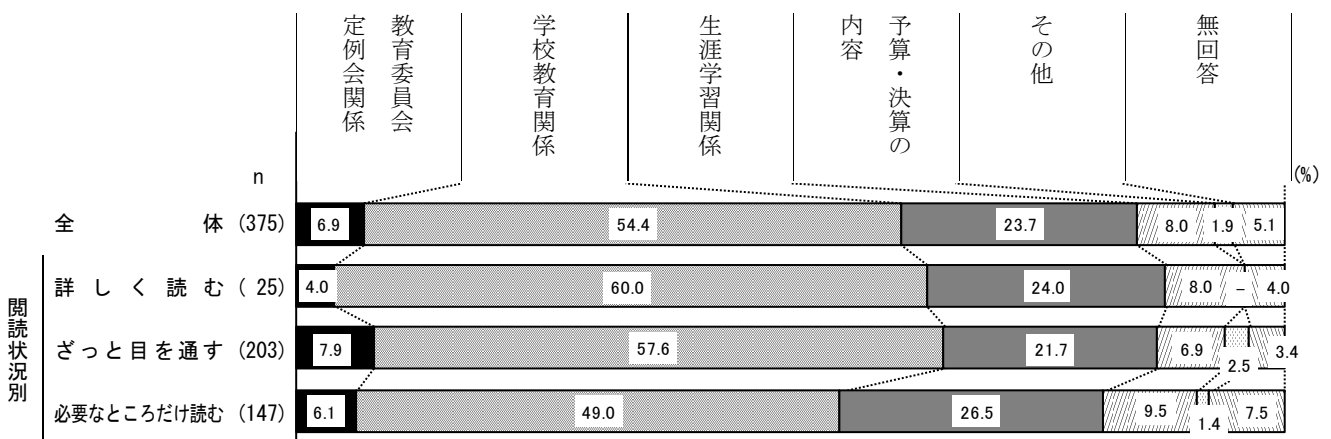
<図表 1 3 - 2 4> 『福生の教育』で関心のある記事



問36で『(ウ) 福生の教育』を「詳しく読む」、「ざっと目を通す」、「必要なところだけ読む」と答えた方に、関心のある記事を尋ねたところ、「学校教育関係」(54.4%)が最も高く、5割台半ば近くとなっている。次いで「生涯学習関係」(23.7%)が2割台半ば近く、「予算・決算の内容」(8.0%)が1割近くとなっている。(図表 1 3 - 2 4)

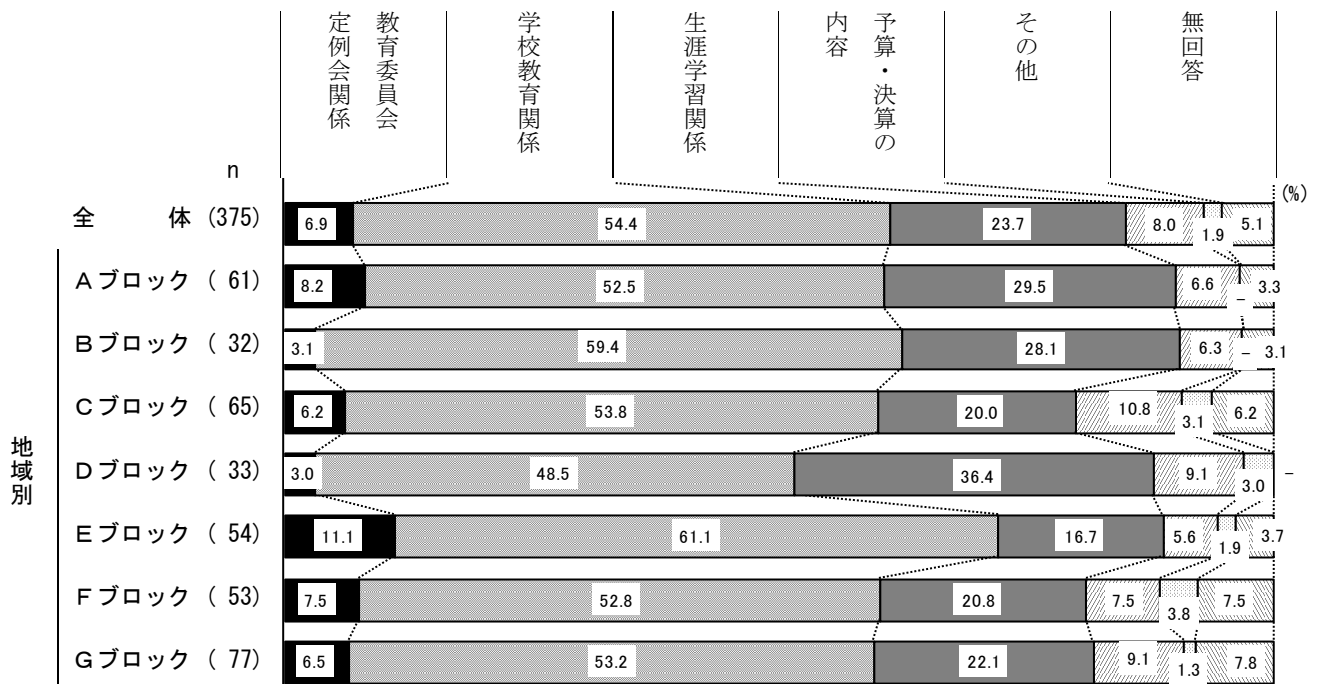
『福生の教育』の閲読状況別でみると、「学校教育関係」は「詳しく読む」(60.0%)が最も高く、6割となっている。「生涯学習関係」は、全ての閲読状況で2割以上となっており、「必要なところだけ読む」(26.5%)が最も高い。(図表 1 3 - 2 5)

<図表 1 3 - 2 5> 『福生の教育』で関心のある記事／閲読状況別



地域別でみると、「学校教育関係」はEブロック（61.1%）で最も高い。「生涯学習関係」はDブロック（36.4%）で最も高く、3割台半ばを超えている。（図表13-26）

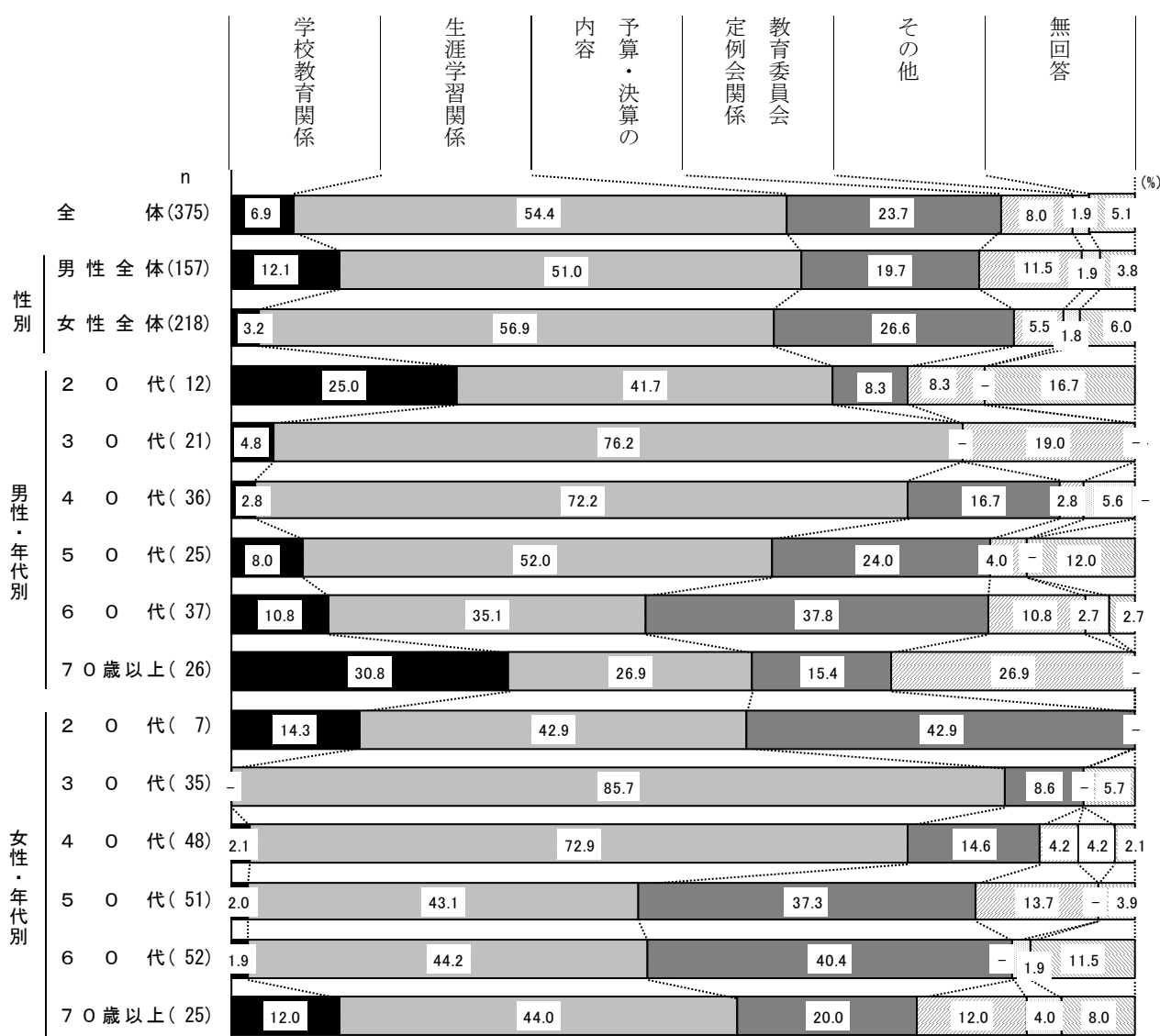
＜図表13-26＞『福生の教育』で関心のある記事／地域別



性別でみると、「生涯学習関係」は5.9ポイント、「予算・決算の内容」は6.9ポイント、女性全体が男性全体より高く、「学校教育関係」は8.9ポイント、「教育委員会定例会関係」は6.0ポイント、男性全体が女性全体より高くなっている。

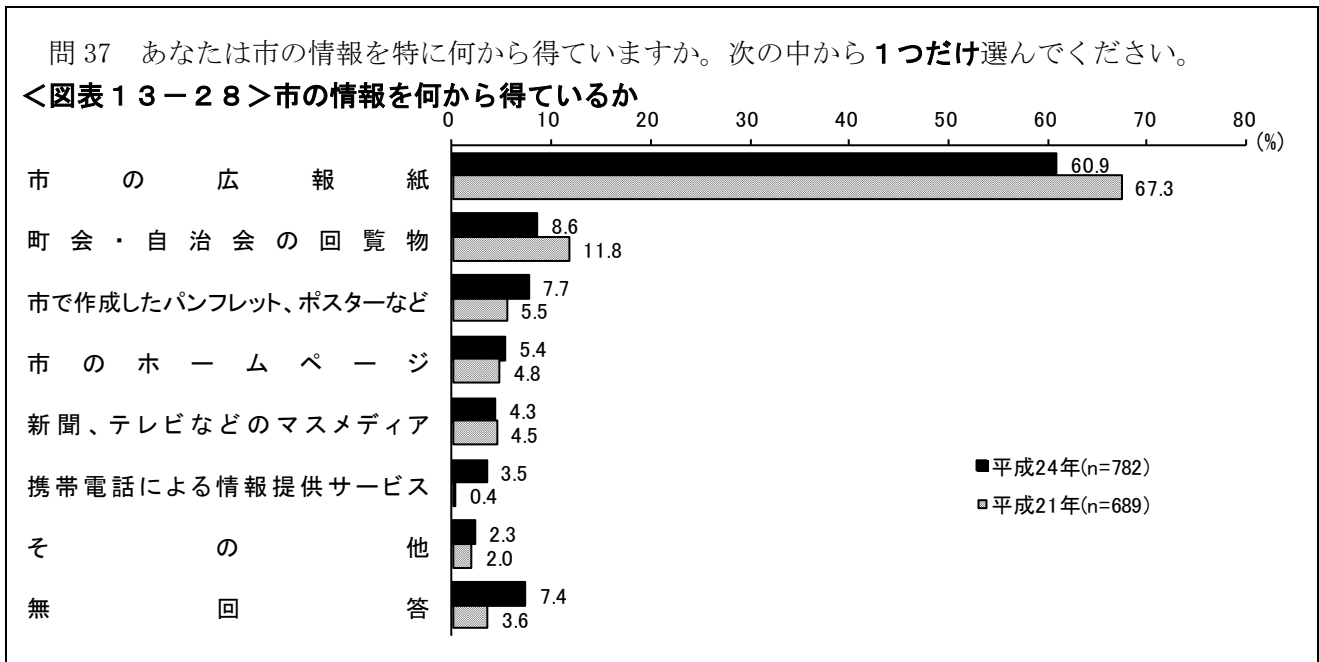
性・年代別でみると、「生涯学習関係」は女性の30代（85.7%）で最も高く、8割台半ばとなっており、男女ともに30代と40代で7割以上となっている。「予算・決算の内容」は女性の20代（42.9%）、60代（40.4%）で4割以上となっている。「学校教育関係」は男性の70歳以上（30.8%）で最も高く、約3割となっている。（図表13-27）

＜図表13-27＞『福生の教育』で関心のある記事／性別、性・年代別



(7) 市の情報を何から得ているか

◇「市の広報紙」が約6割



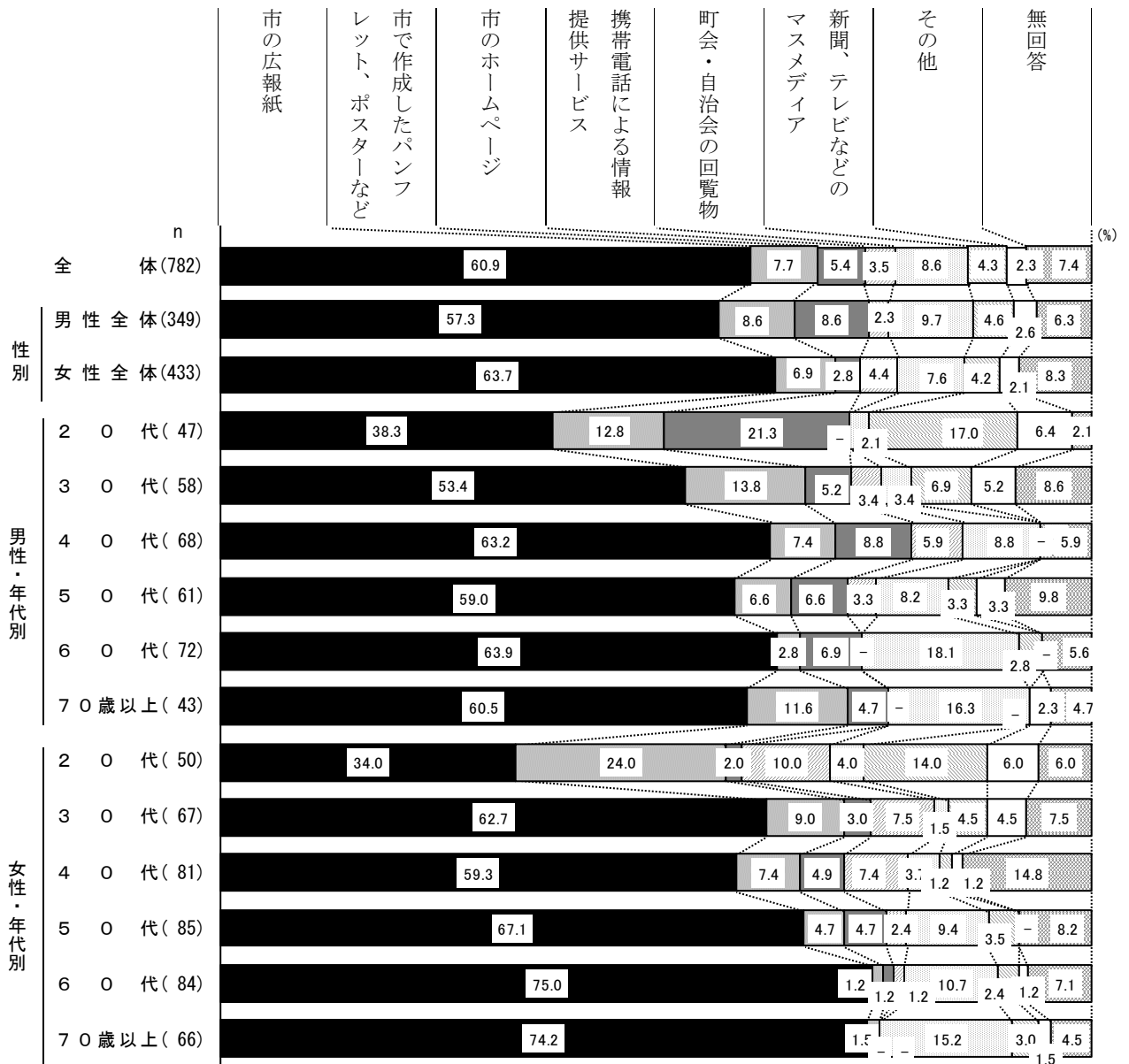
市の情報を何から得ているかを尋ねたところ、「市の広報紙」(60.9%)が最も高く、約6割となっており、その他の項目については、全て1割以下となっている。

平成21年度の調査結果と比較すると、「市の広報紙」は6.4ポイント減少している。(図表 1 3 - 2 8)

性別でみると、「市の広報紙」は女性全体（63.7%）が男性全体（57.3%）より6.4ポイント高くなっている。

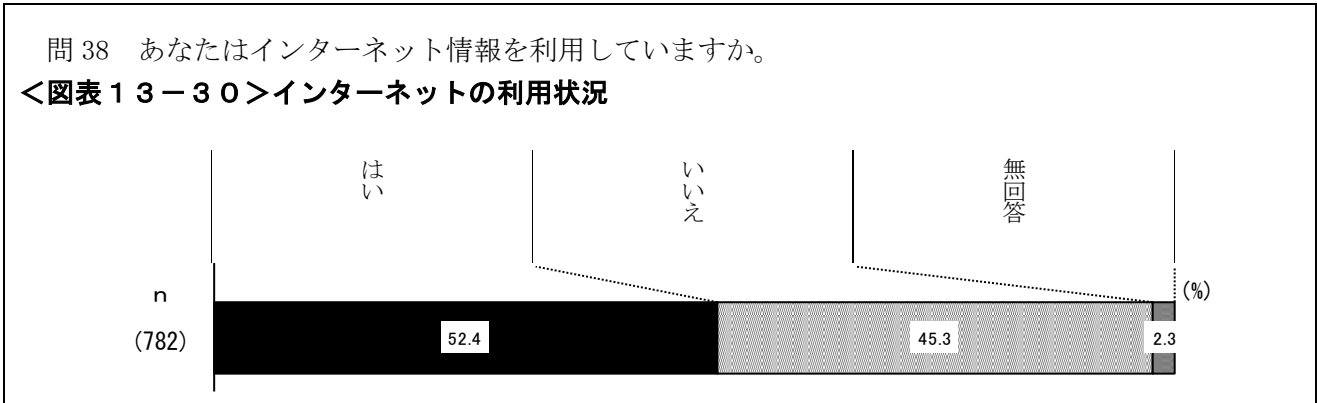
性・年代別でみると、「市の広報紙」は女性の60代（75.0%）、70歳以上（74.2%）で7割以上となっており、男女ともに20代を除く全ての年代で5割以上となっている。「市で作成したパンフレット、ポスターなど」は女性の20代（24.0%）、「市のホームページ」は男性の20代（21.3%）でそれぞれ2割以上と、他の年代に比べて高くなっている。（図表13-29）

＜図表13-29＞市の情報を何から得ているか／性別、性・年代別



(8) インターネットの利用状況

◇「はい」が5割強、「いいえ」が4割台半ば

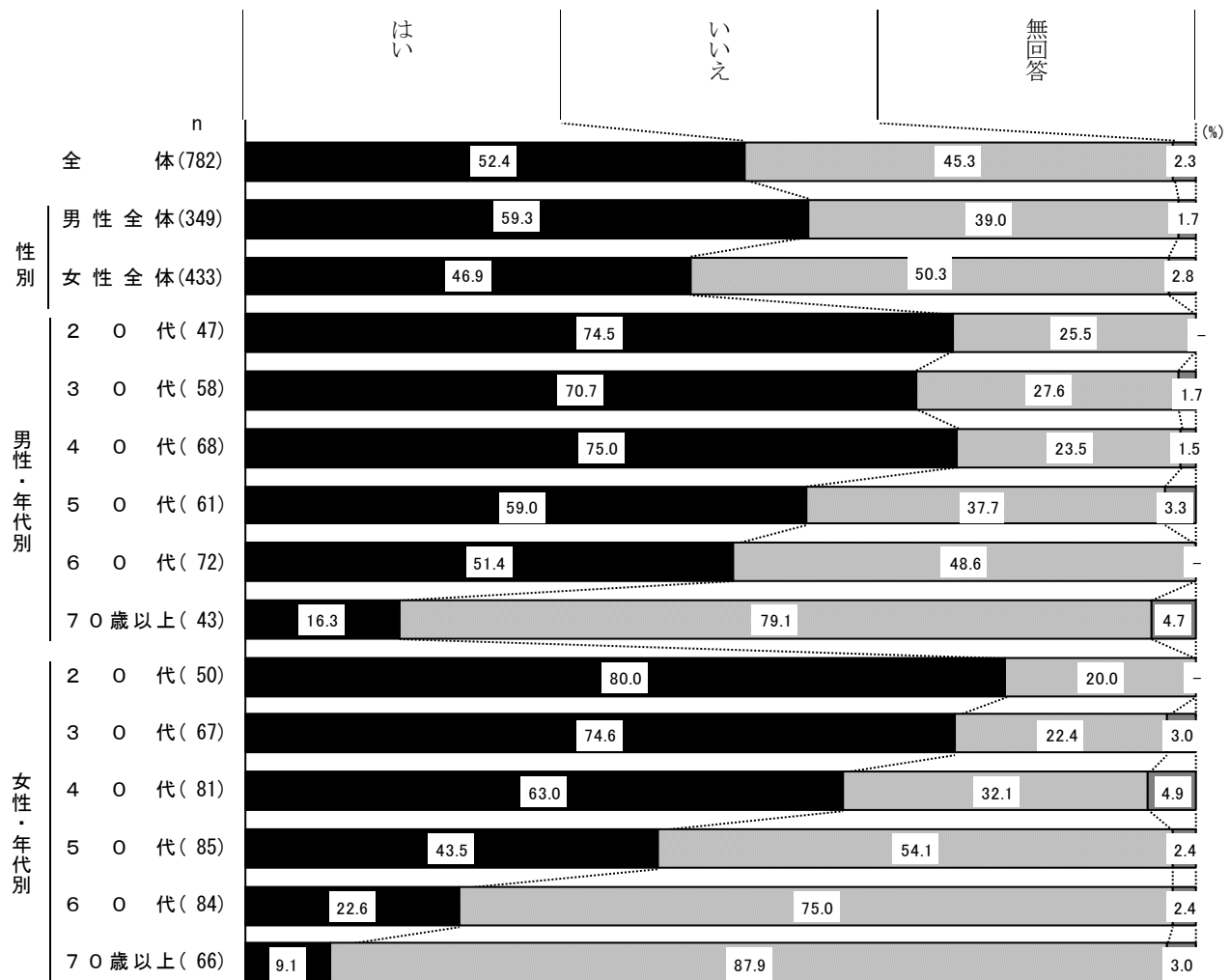


インターネットの利用状況を尋ねたところ、「はい」(52.4%)が5割強、「いいえ」(45.3%)が4割台半ばとなっている。(図表 1 3 - 3 0)

性別でみると、「はい」は男性全体(59.3%)が女性全体(46.9%)より12.4ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、「はい」は男性の60代以下、女性の40代以下の年代で5割以上となっており、男女ともに年代が上がる高い層になるにつれて低くなる傾向がみられる。「いいえ」は女性の70歳以上(87.9%)で最も高く、次いで男性の70歳以上(79.1%)、女性の60代(75.0%)となっており、それぞれ7割以上となっている。(図表 1 3 - 3 1)

<図表 1 3 - 3 1>インターネットの利用状況／性別、性・年代別

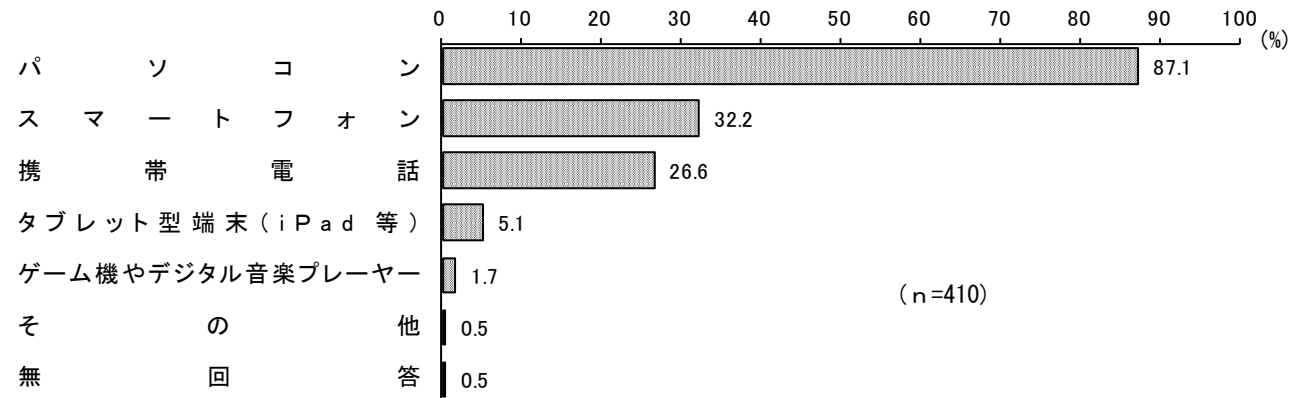


(9) インターネットの閲覧に用いる機器

◇「パソコン」が8割台半ばを超える

問 38-2 問 38 で「1 はい」を選んだ方にお伺いします。インターネット情報を閲覧する時、よく利用している機器は何ですか。次の中から**あてはまるものを全て**選んでください。

<図表 1 3 - 3 2>インターネットの閲覧に用いる機器（複数回答）

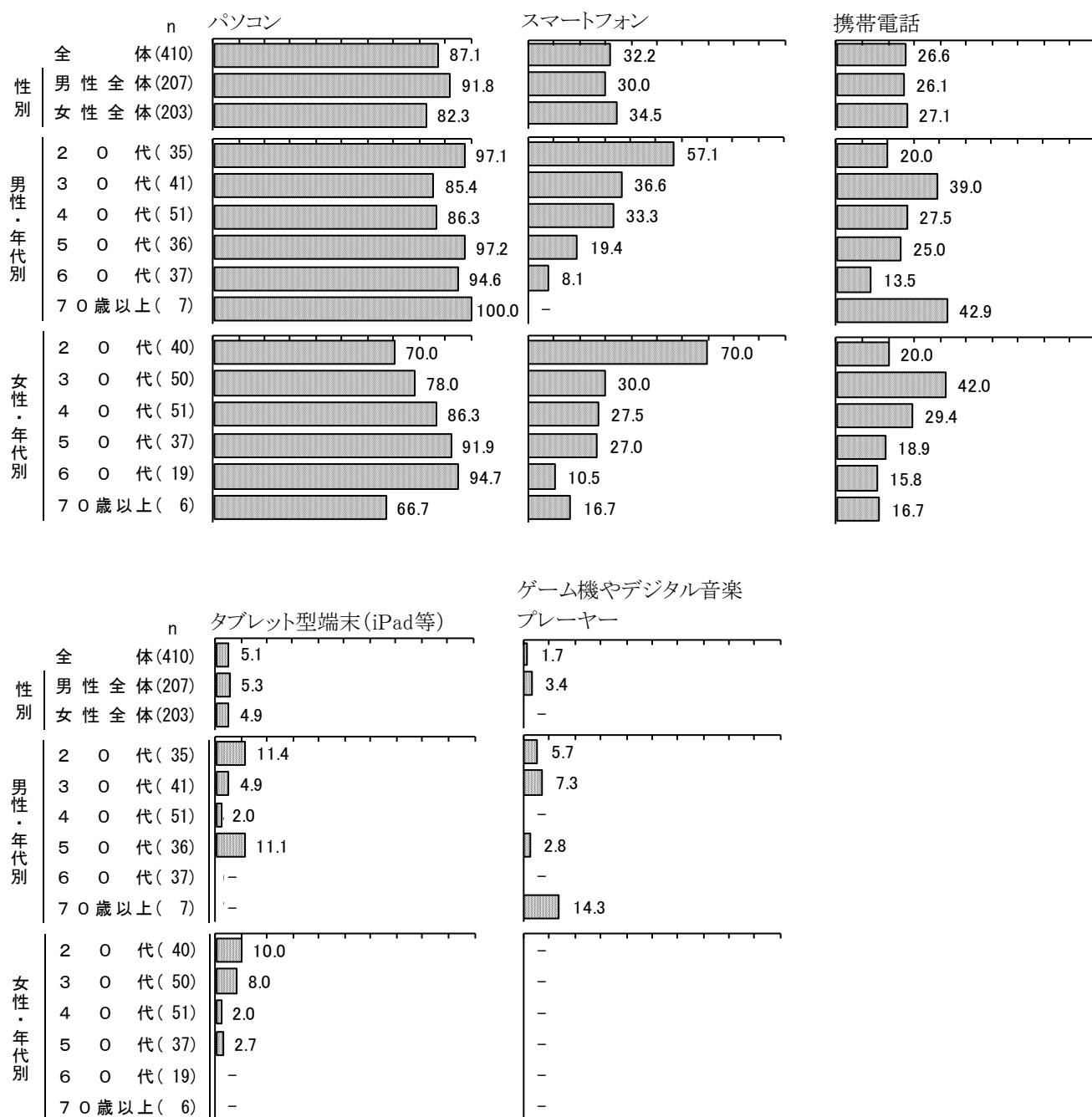


インターネットの閲覧に用いる機器について尋ねたところ、「パソコン」(87.1%)が最も高く、8割台半ばを超えており、次いで「スマートフォン」(32.2%)、「携帯電話」(26.6%)となっている。(図表 1 3 - 3 2)

性別でみると、「パソコン」は男性全体（91.8%）が女性全体（82.3%）より9.5ポイント高くなっており、「スマートフォン」は女性全体（34.5%）が男性全体（30.0%）より4.5ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、「パソコン」は女性の70歳以上を除く全ての年代で7割以上となっている。「スマートフォン」は女性の20代（70.0%）で最も高く、男女ともに年代が若い層になるにつれて高くなる傾向がみられる。「携帯電話」は男性の70歳以上（42.9%）、女性の30代（42.0%）で4割以上となっている。（図表13-33）

＜図表13-33＞インターネットの閲覧に用いる機器／性別、性・年代別

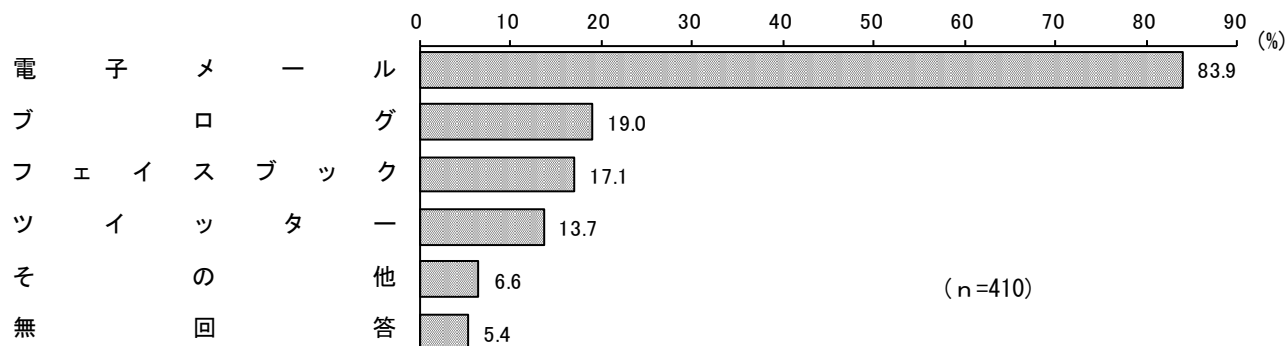


(10) 利用している情報発信や情報交換の方法

◇「電子メール」が8割台半ば近くで最も高い

問 38-3 問 38 で「1 はい」を選んだ方にお伺いします。現在、利用している情報発信や情報交換の方法は何ですか。次の中から**あてはまるものを全て**選んでください。

<図表 1 3 - 3 4>利用している情報発信や情報交換の方法（複数回答）

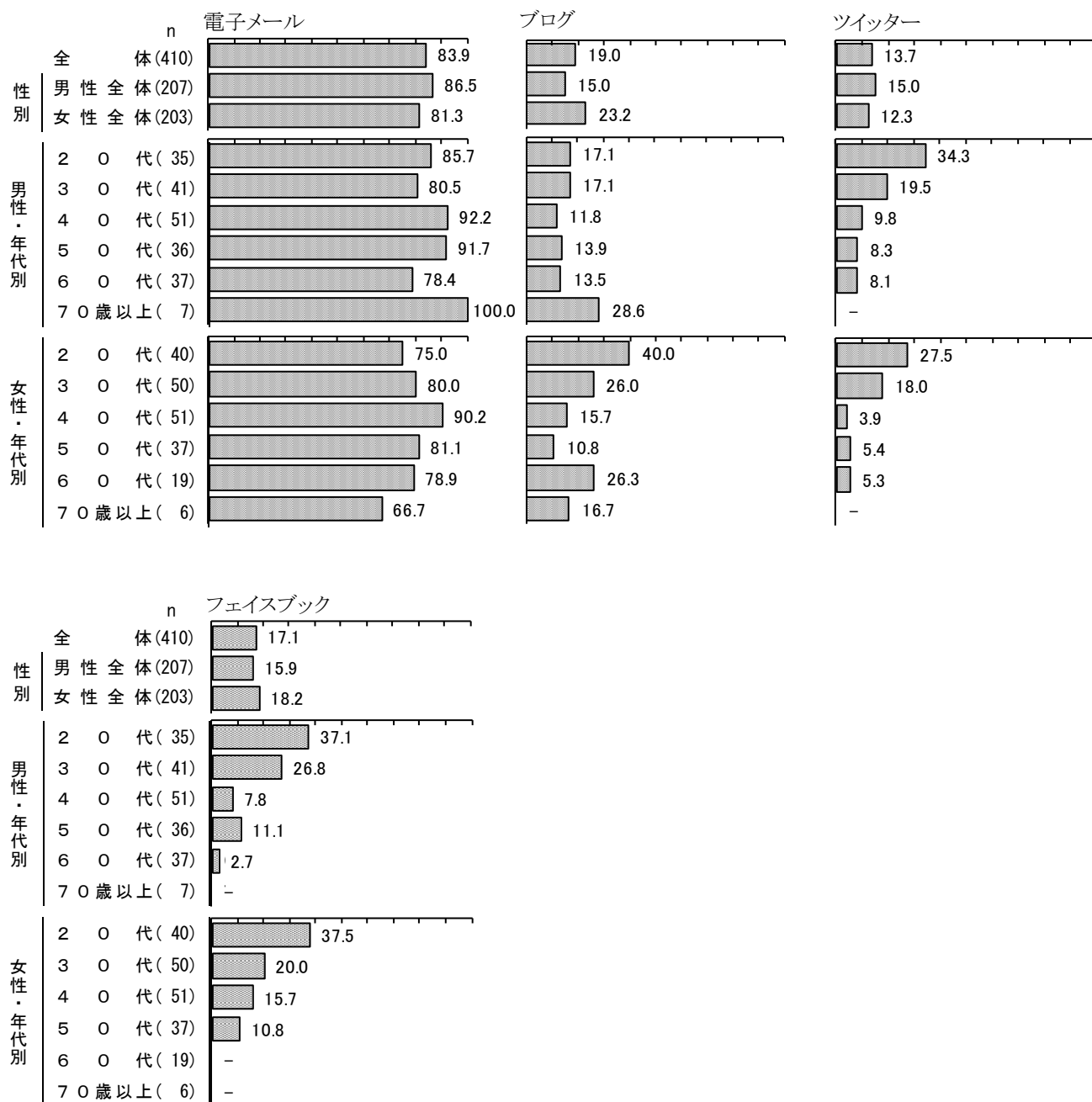


問38で「はい」を選んだ方に、利用している情報発信や情報交換の方法を尋ねたところ、「電子メール」(83.9%)が最も高く、8割台半ば近くとなっており、次いで「ブログ」(19.0%)、「フェイスブック」(17.1%)、「ツイッター」(13.7%)の順となっている。(図表 1 3 - 3 4)

性別でみると、「電子メール」は男性全体（86.5%）が女性全体（81.3%）より5.2ポイント高く、「ブログ」は女性全体（23.2%）が男性全体（15.0%）より8.2ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、「電子メール」は女性の70歳以上を除く全ての年代で7割以上となっている。「ツイッター」、「フェイスブック」は男女ともに年代が若い層になるにつれて高くなる傾向がみられる。（図表13-35）

＜図表13-35＞利用している情報発信や情報交換の方法／性別、性・年代別

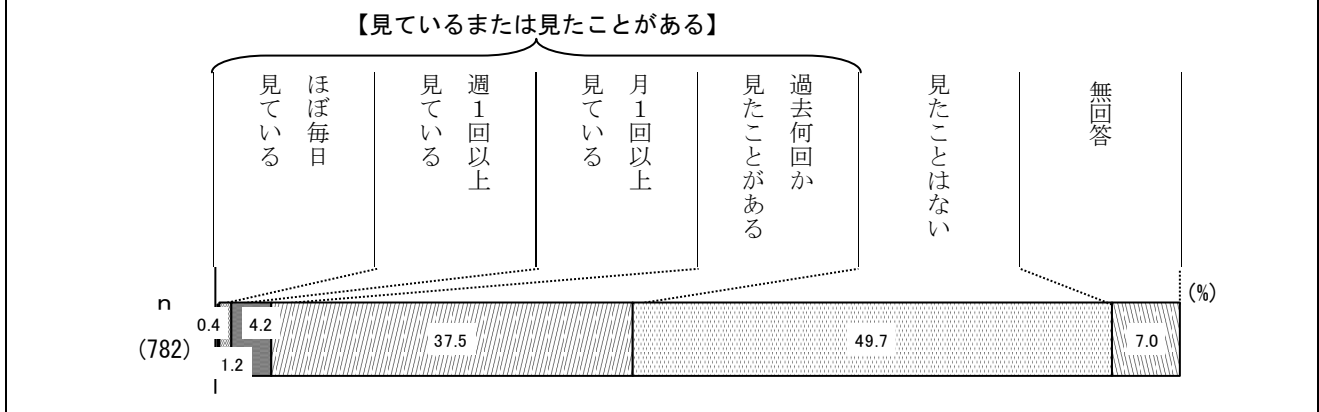


(11) 市のホームページの閲覧状況

◇【見ているまたは見たことがある】は4割台半ば近く

問 39 市では現在、ホームページ（アドレス <http://www.city.fussa.tokyo.jp/>）を開設していますが、
 ご覧になったことはありますか。次の中から1つだけ選んでください。

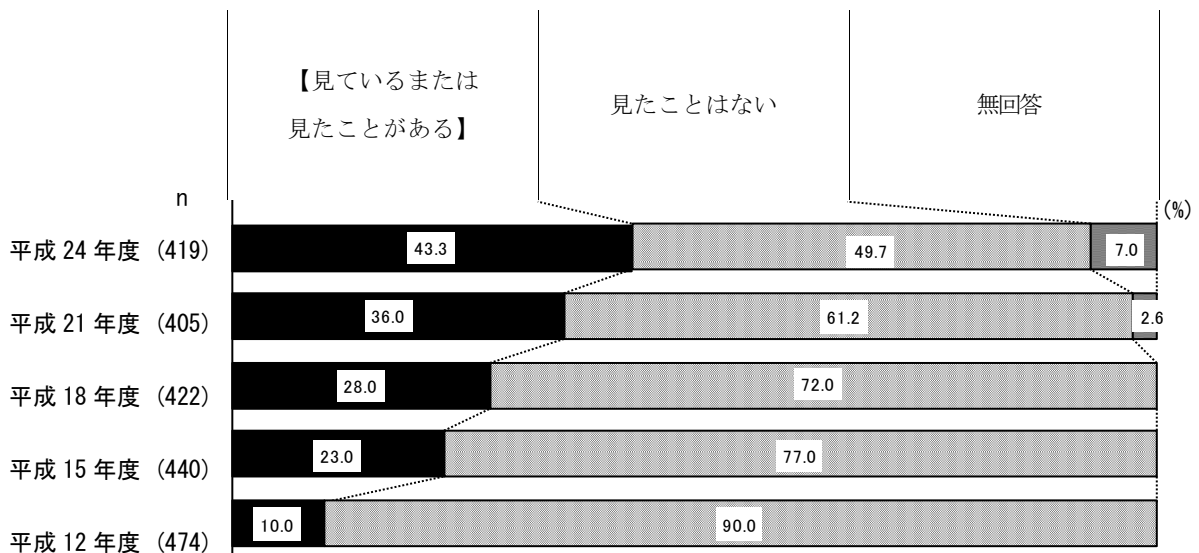
<図表 13-36>市のホームページの閲覧状況



市のホームページの閲覧状況を尋ねたところ、「ほぼ毎日見ている」(0.4%)、「週1回以上見ている」(1.2%)、「月1回以上見ている」(4.2%)、「過去何回か見たことがある」(37.5%)を合わせた【見ているまたは見たことがある】(43.3%)が4割台半ば近くとなっている。一方、「見たことはない」(49.7%)は5割弱となっている。(図表 13-36)

過年度調査の推移をみると、【見ているまたは見たことがある】は一貫して増加傾向にあり、平成21年度調査と比較すると、7.2ポイント増加している。(図表 13-37)

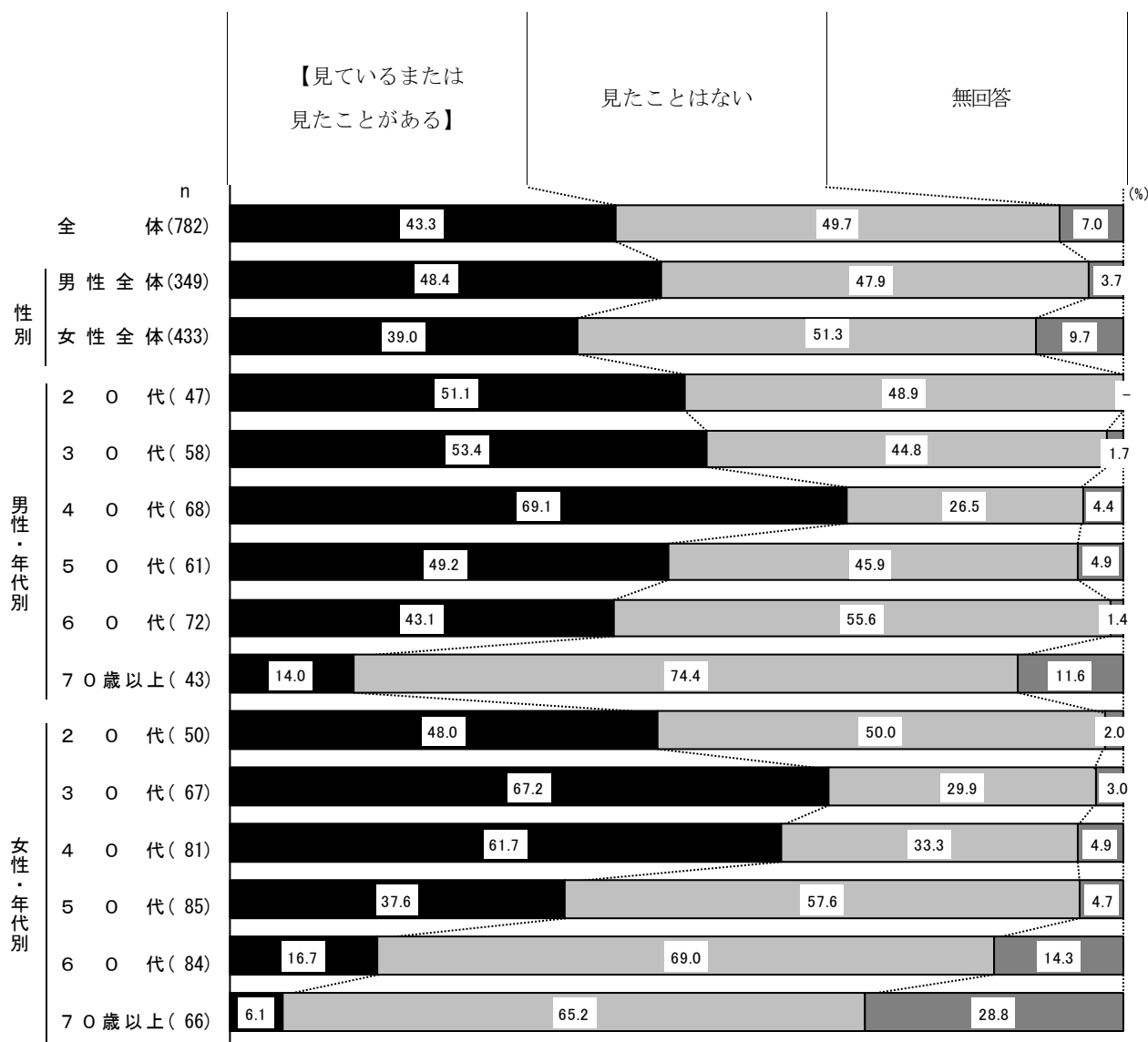
<図表 13-37>市のホームページの閲覧状況/過年度推移



性別でみると、【見ているまたは見たことがある】は男性全体（48.4%）が女性全体（39.0%）より9.4ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、【見ているまたは見たことがある】は男性の40代（69.1%）で最も高く、次いで女性の30代（67.2%）、40代（61.7%）となっており、それぞれ6割以上となっている。また、男性の70歳以上と女性の60代以上の年代では、2割以下と低くなっている。（図表13-38）

＜図表13-38＞市のホームページの閲覧状況／性別、性・年代別

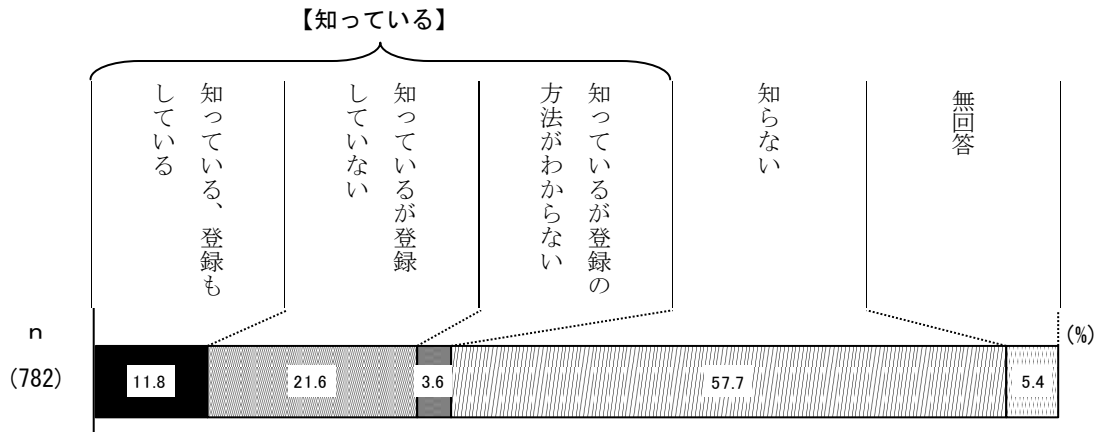


(12) 「ふっさ情報メール」の認知状況

◇ 「知っている、登録もしている」は1割強、「知らない」は5割台半ばを超える

問 40 市では携帯電話やパソコンのメール機能を活用し、あらかじめ登録していただいた利用者の携帯電話やパソコンに「ふっさ情報メール」として、防災情報や各種イベント情報など、生活に役立つ情報を配信しています。この「ふっさ情報メール」について次の中から**1つだけ**選んでください

<図表 13-39> 「ふっさ情報メール」の認知状況

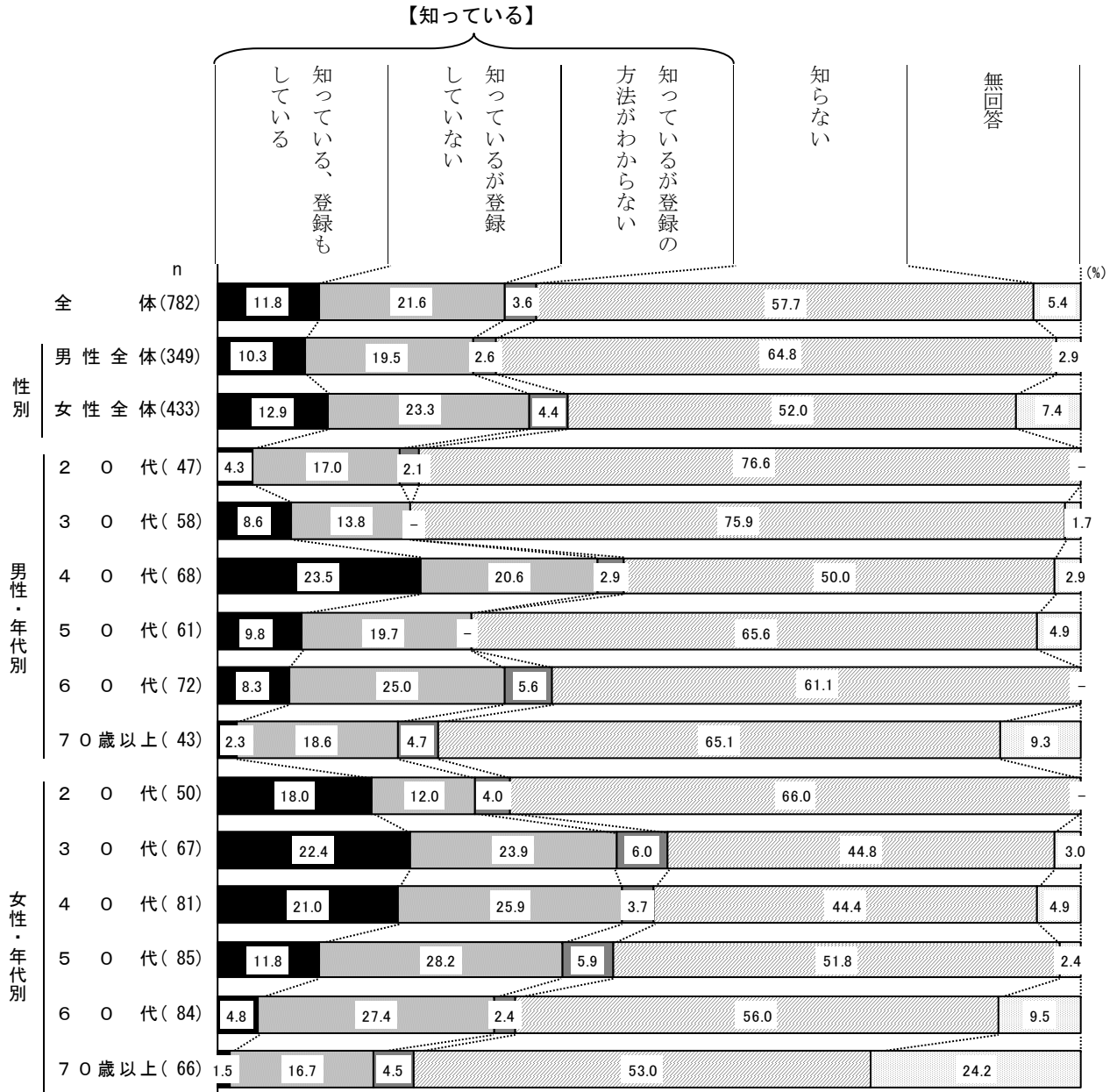


「ふっさ情報メール」の認知状況について尋ねたところ、「知っている、登録もしている」(11.8%)、「知っているが登録していない」(21.6%)、「知っているが登録の方法がわからない」(3.6%)を合わせた【知っている】(37.0%)は3割台半ばを超える。一方、「知らない」(57.7%)は5割台半ばを超えている。(図表 13-39)

性別でみると、【知っている】は女性全体（40.6%）が男性全体（32.4%）より8.2ポイント高い。

性・年代別でみると、「知っている、登録もしている」は男性の40代（23.5%）、女性の30代（22.4%）、40代（21.0%）の順に高く、それぞれ2割以上となっている。【知っている】は女性の30代（52.3%）と40代（50.6%）で5割以上と高い。一方、「知らない」は男性の30代以下の年代で7割以上となっている。（図表13-40）

＜図表13-40＞「ふっさ情報メール」の認知状況／性別、性・年代別

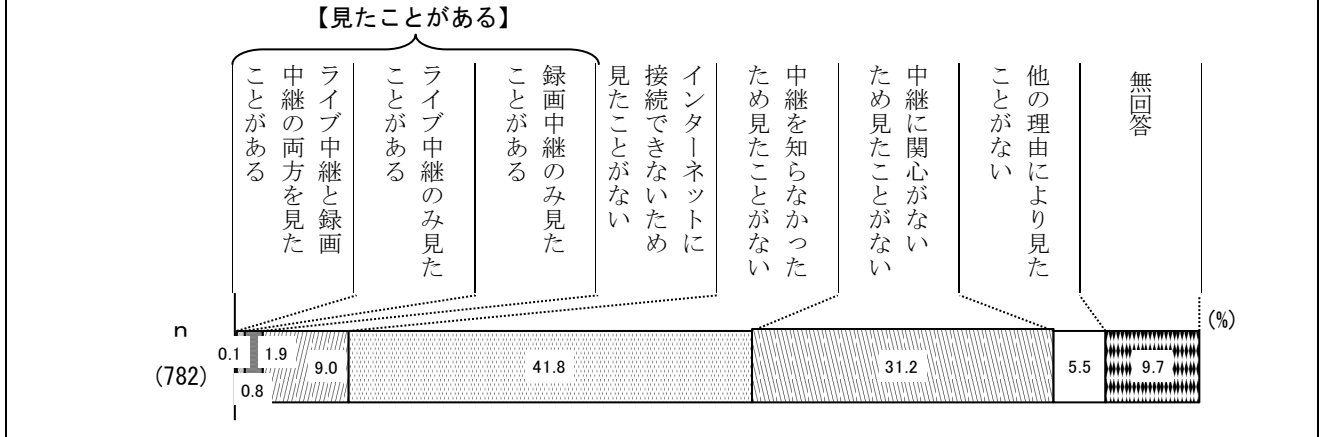


(13) 福生市議会のインターネット中継閲覧状況

◇「中継を知らなかったため見たことがない」が4割強

問 41 市ホームページで配信している福生市議会のインターネット中継についてお伺いします。次の中から**1つだけ**選んでください。

<図表 13-41> 福生市議会のインターネット中継閲覧状況

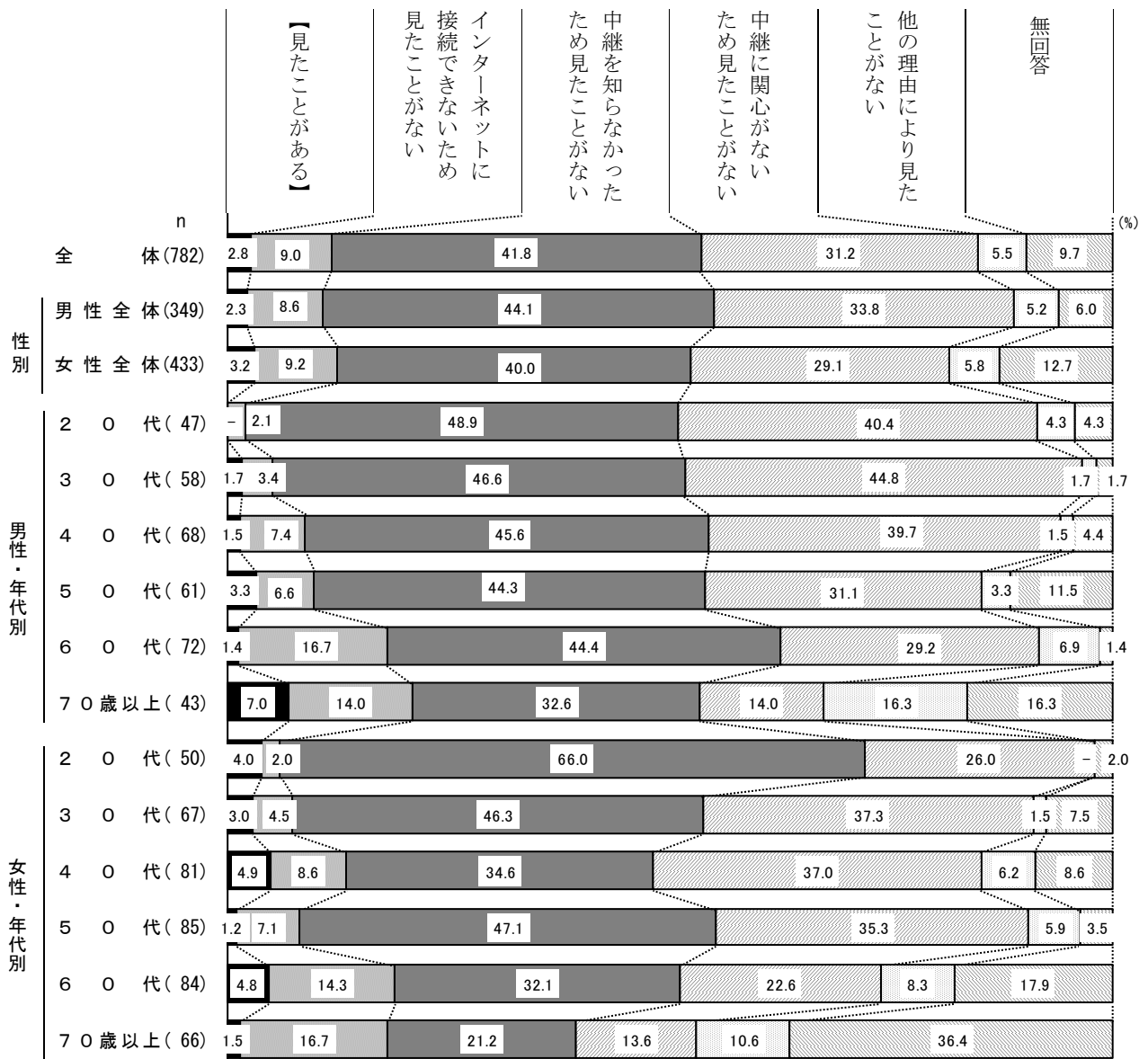


福生市議会のインターネット中継閲覧状況について尋ねたところ、「中継を知らなかったため見たことがない」(41.8%)が最も高く、4割強となっており、次いで「中継に関心がないため見たことがない」(31.2%)となっている。一方、「ライブ中継と録画中継の両方を見たことがある」(0.1%)と「ライブ中継のみ見たことがある」(0.8%)、「録画中継のみ見たことがある」(1.9%)を合わせた【見たことがある】(2.8%)は1割未満となっている。(図表 13-41)

性別でみると、「中継に関心がないため見たことがない」は男性全体（33.8%）が女性全体（29.1%）より4.7ポイント高くなっている。

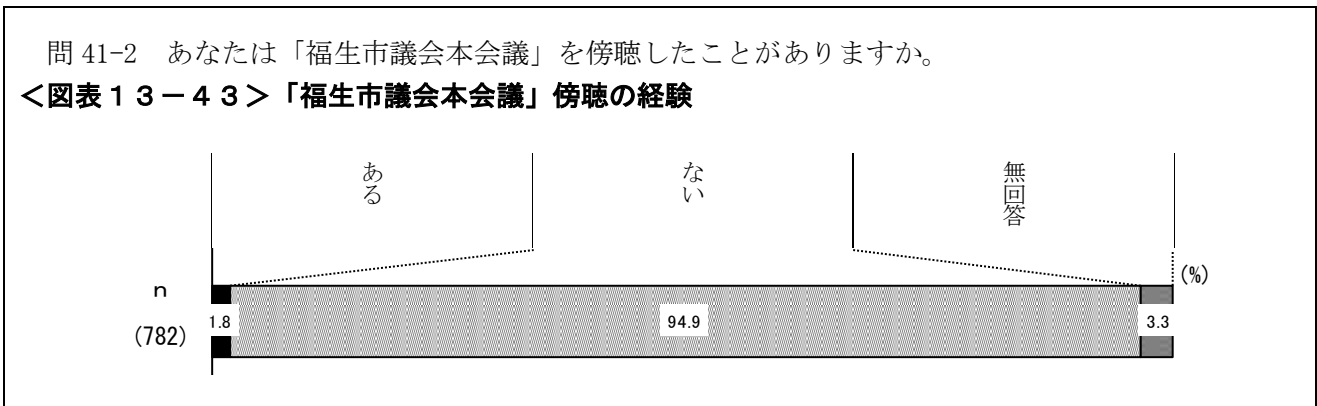
性・年代別でみると、【見たことがある】は男性の70歳以上（7.0%）で最も高く、全ての年代で1割未満に留まっている。「中継を知らなかったため見たことがない」は女性の20代（66.0%）で最も高い。「中継に関心がないため見たことがない」は男性の20代（40.4%）と30代（44.8%）で4割以上となっており、「インターネットに接続できないため見たことがない」は男女ともに60代以上の年代で1割以上となっている。（図表13-42）

＜図表13-42＞福生市議会のインターネット中継閲覧状況／性別、性・年代別



(14) 「福生市議会本会議」傍聴の経験

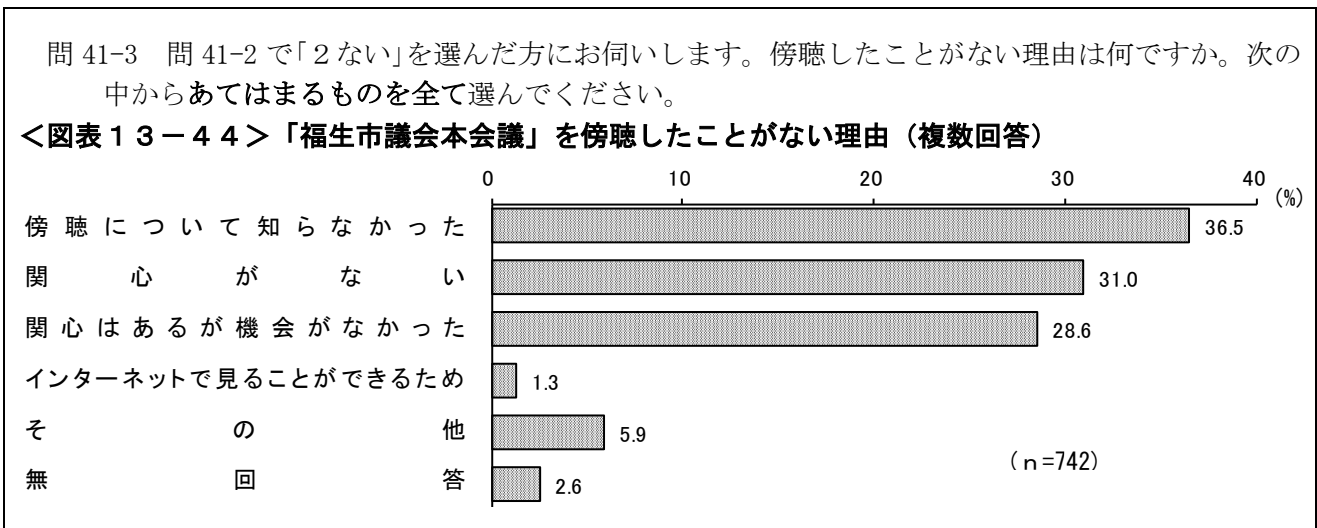
◇「ない」が9割台半ば近く



「福生市議会本会議」の傍聴の経験について尋ねたところ、「ない」(94.9%)が9割台半ば近くとなっており、「ある」(1.8%)は極めて少数となっている。(図表 1 3 - 4 3)

(15) 「福生市議会本会議」を傍聴したことがない理由

◇「傍聴について知らなかった」が3割台半ばを超える

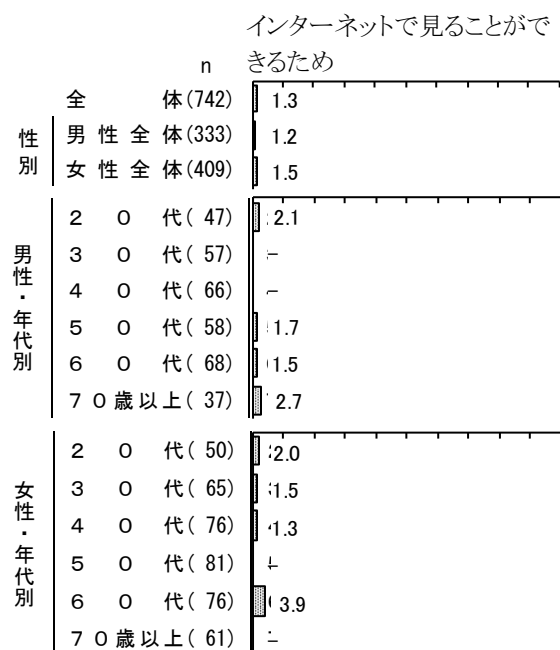
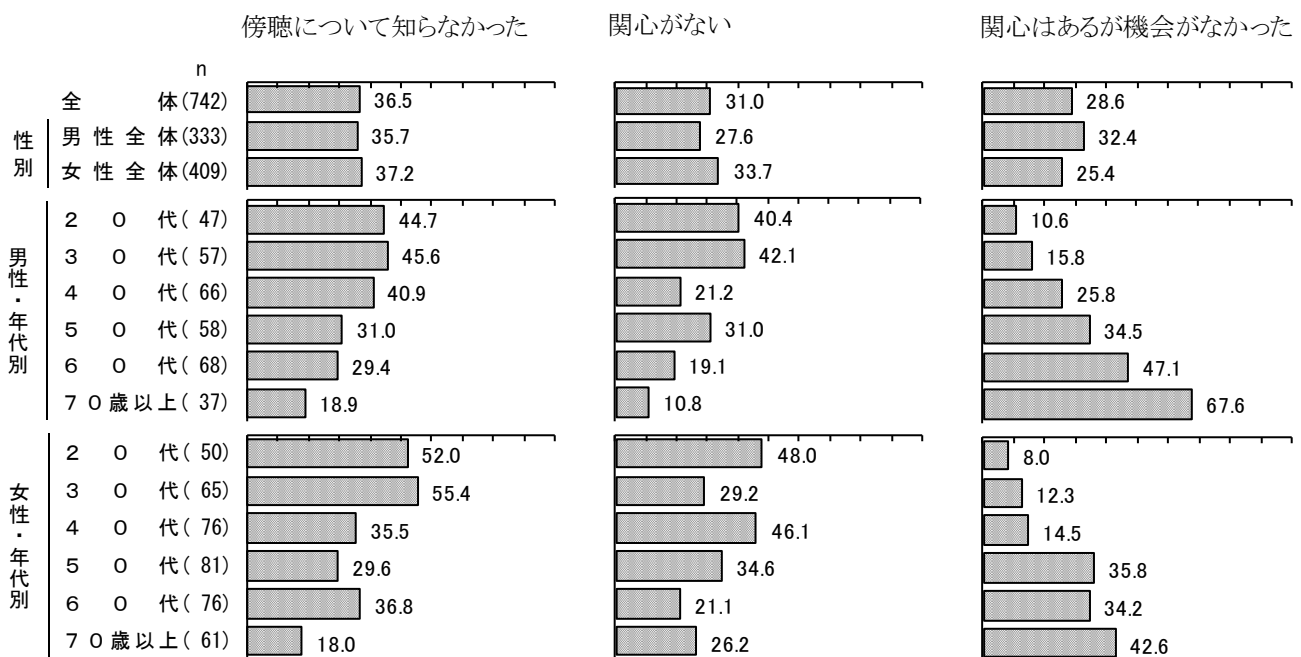


問41-2で「ない」を選んだ方に「福生市議会本会議」を傍聴したことがない理由を尋ねたところ、「傍聴について知らなかった」(36.5%)が最も高く、3割台半ばを超える。次いで、「関心がない」(31.0%)、「関心はあるが機会がなかった」(28.6%)、「インターネットで見ることができるため」(1.3%)となっている。(図表 1 3 - 4 4)

性別でみると、「関心がない」は女性全体（33.7%）が男性全体（27.6%）より6.1ポイント高く、「関心はあるが機会がなかった」は男性全体（32.4%）が女性全体（25.4%）より7.0ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、「傍聴について知らなかった」は女性の30代（55.4%）で最も高く、男女ともに年代が若い層になるにつれて高くなる傾向がみられる。「関心がない」は男性の30代以下、女性の20代と40代で4割以上となっている。「関心はあるが機会がなかった」は男性の70歳以上（67.6%）で最も高く、男女ともに年代が高い層になるにつれて高くなる傾向がみられる。（図表13-45）

＜図表13-45＞「福生市議会本会議」を傍聴したことがない理由／性別、性・年代別



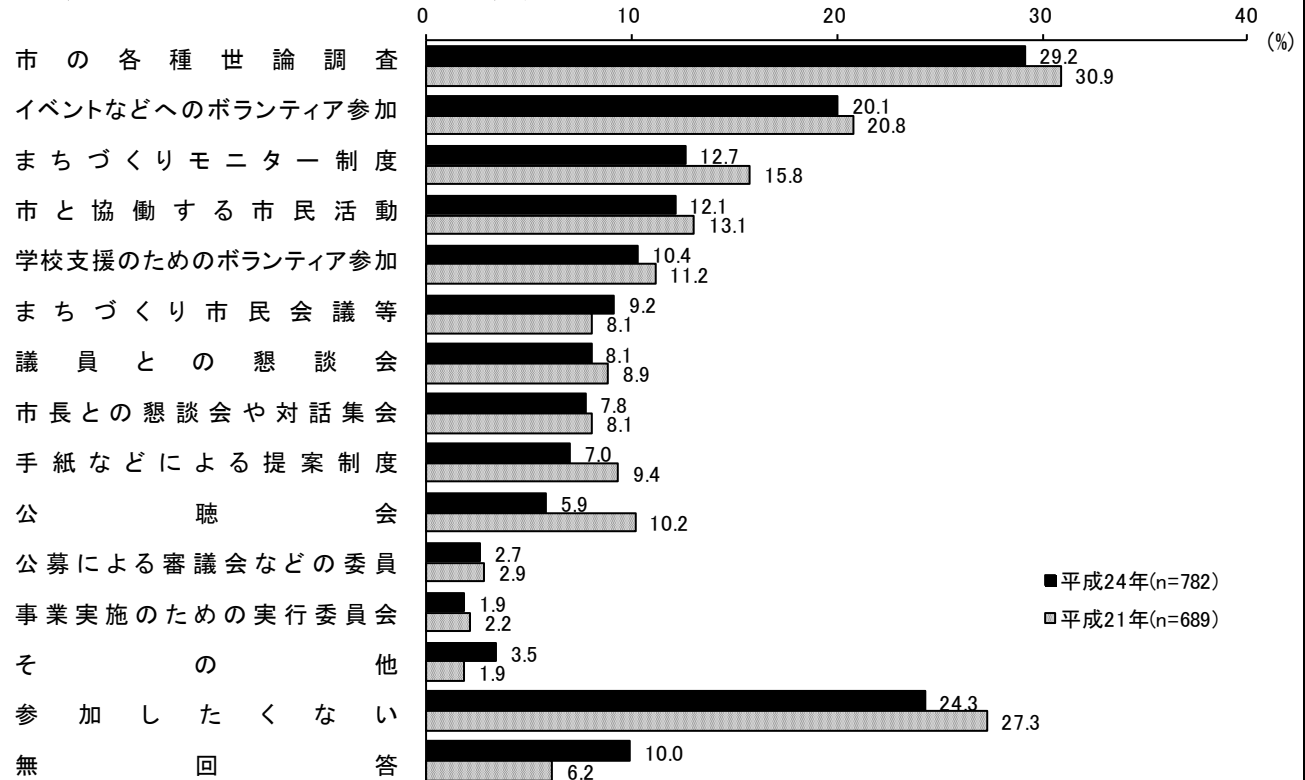
14. 市民と市政

(1) 市政への市民参加

◇「市の各種世論調査」が3割弱、「イベントなどへのボランティア参加」が約2割

問 42 「市政への市民参加」ということが言われていますが、あなたはどのような方法で市政に参加したいと思いますか。次の中から**3つまで**選んでください。

＜図表 1 4 - 1＞市政への市民参加（複数回答）



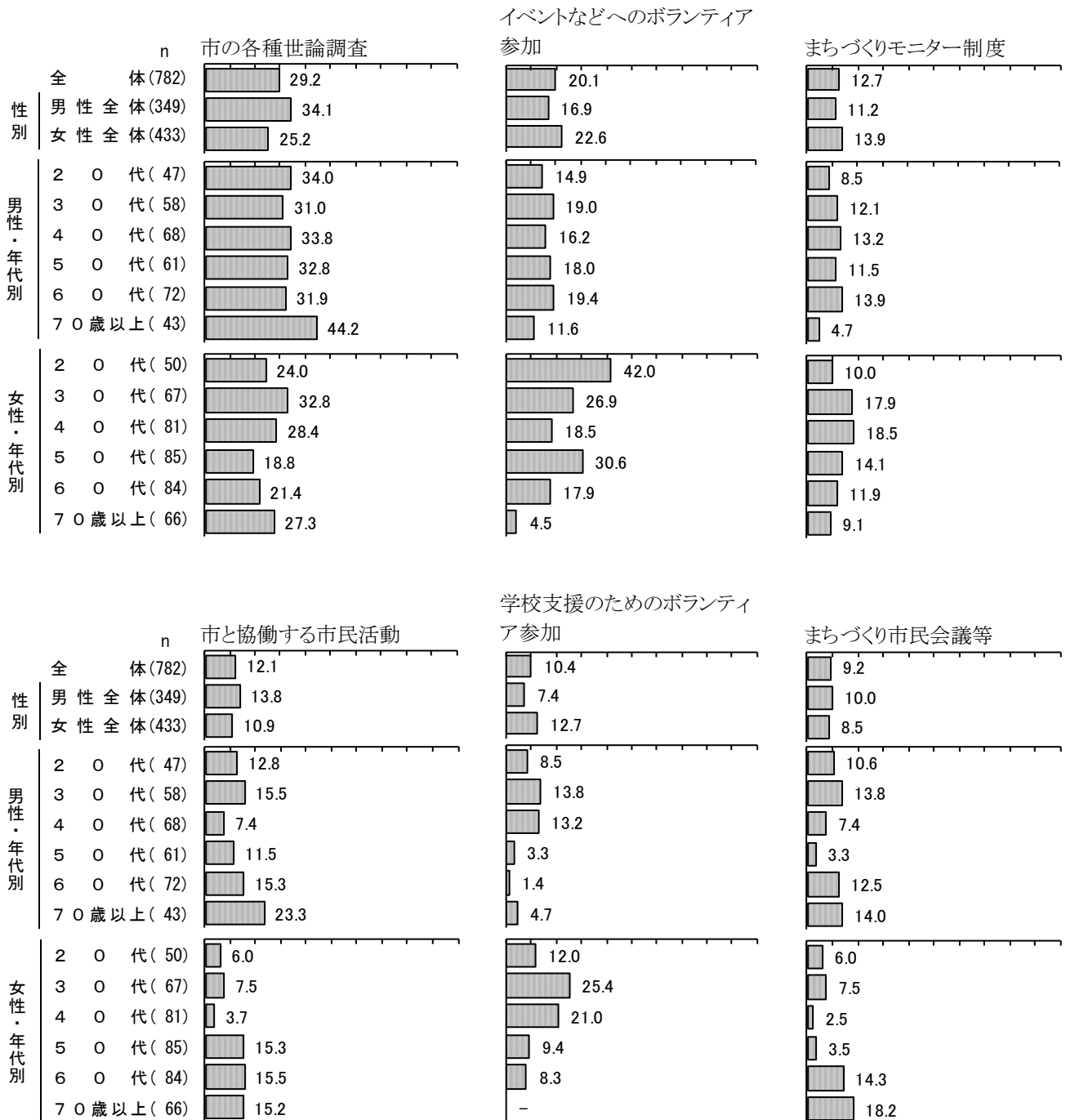
市政への市民参加について尋ねたところ、「市の各種世論調査」（29.2%）が最も高く、3割弱となっている。次いで「イベントなどへのボランティア参加」（20.1%）が約2割、「まちづくりモニター制度」（12.7%）、「市と協働する市民活動」（12.1%）、「学校支援のためのボランティア参加」（10.4%）となっており、それぞれ1割以上となっている。また、「参加したくない」（24.3%）の割合が2割台半ば近くとなっている。（図表 1 4 - 1）

平成21年度の調査結果と比較すると、「参加したくない」は3.0ポイント減少、「公聴会」は4.3ポイント減少している。他の項目では大きな変化はみられない。（図表 1 4 - 1）

上位6項目について性別でみると、「市の各種世論調査」は男性全体（34.1%）が女性全体（25.2%）より8.9ポイント高くなっている。「イベントなどへのボランティア参加」は5.7ポイント、「学校支援のためのボランティア参加」は5.3ポイント、女性全体が男性全体より高くなっている。

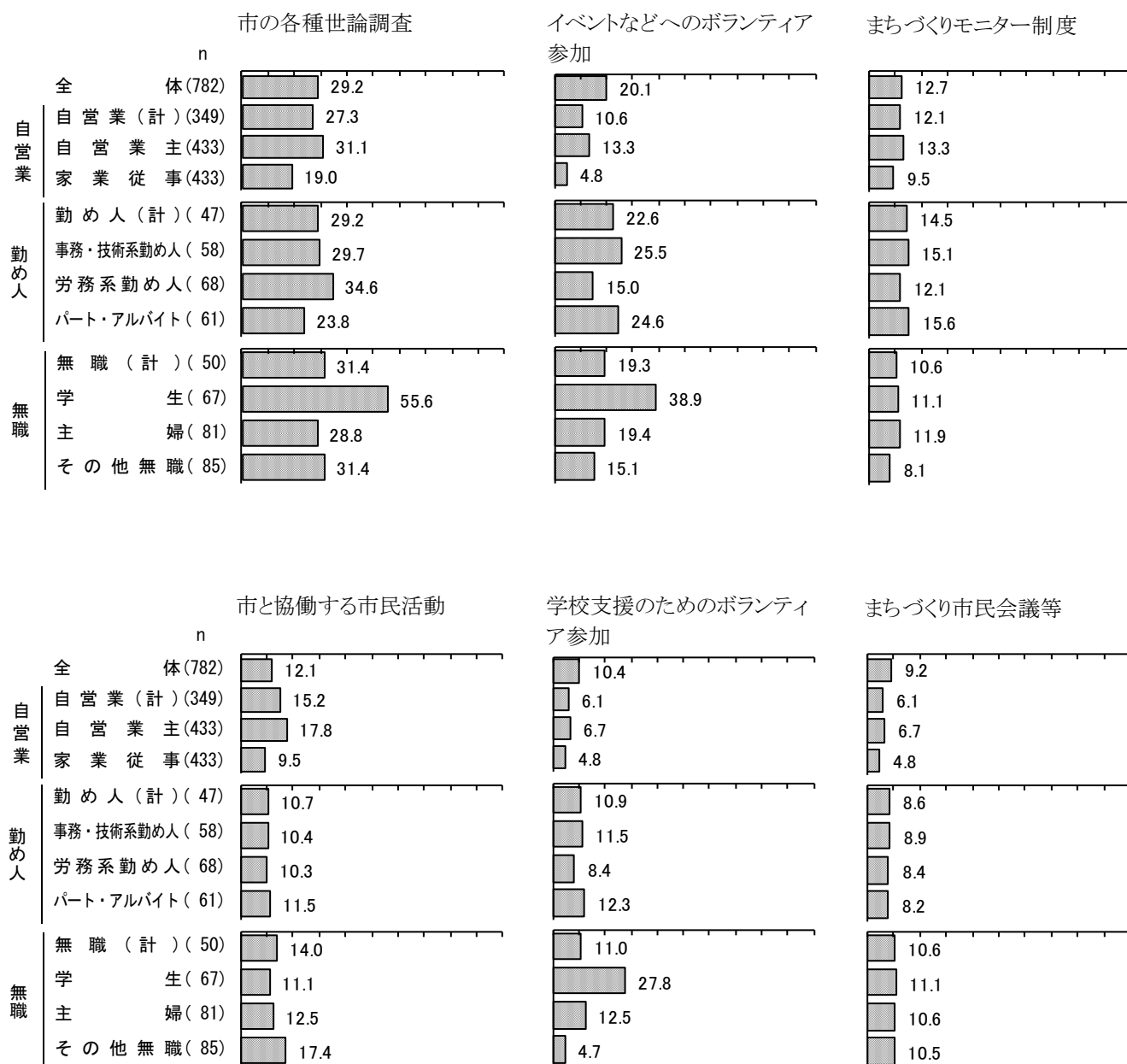
性・年代別でみると、「市の各種世論調査」は男性の70歳以上（44.2%）が最も高く、4割台半ば近くとなっている。「イベントなどへのボランティア参加」は女性の20代（42.0%）、50代（30.6%）の順に高い。「学校支援のためのボランティア参加」は女性の30代（25.4%）、40代（21.0%）で2割以上となっている。（図表14-2）

＜図表14-2＞市政への市民参加／性別、性・年代別（上位6項目）



上位6項目について職業別でみると、「市の各種世論調査」、「イベントなどへのボランティア参加」、「学校支援のためのボランティア参加」では、他の職業と比べて学生が高くなっている。(図表14-3)

＜図表14-3＞市政への市民参加／職業別（上位6項目）

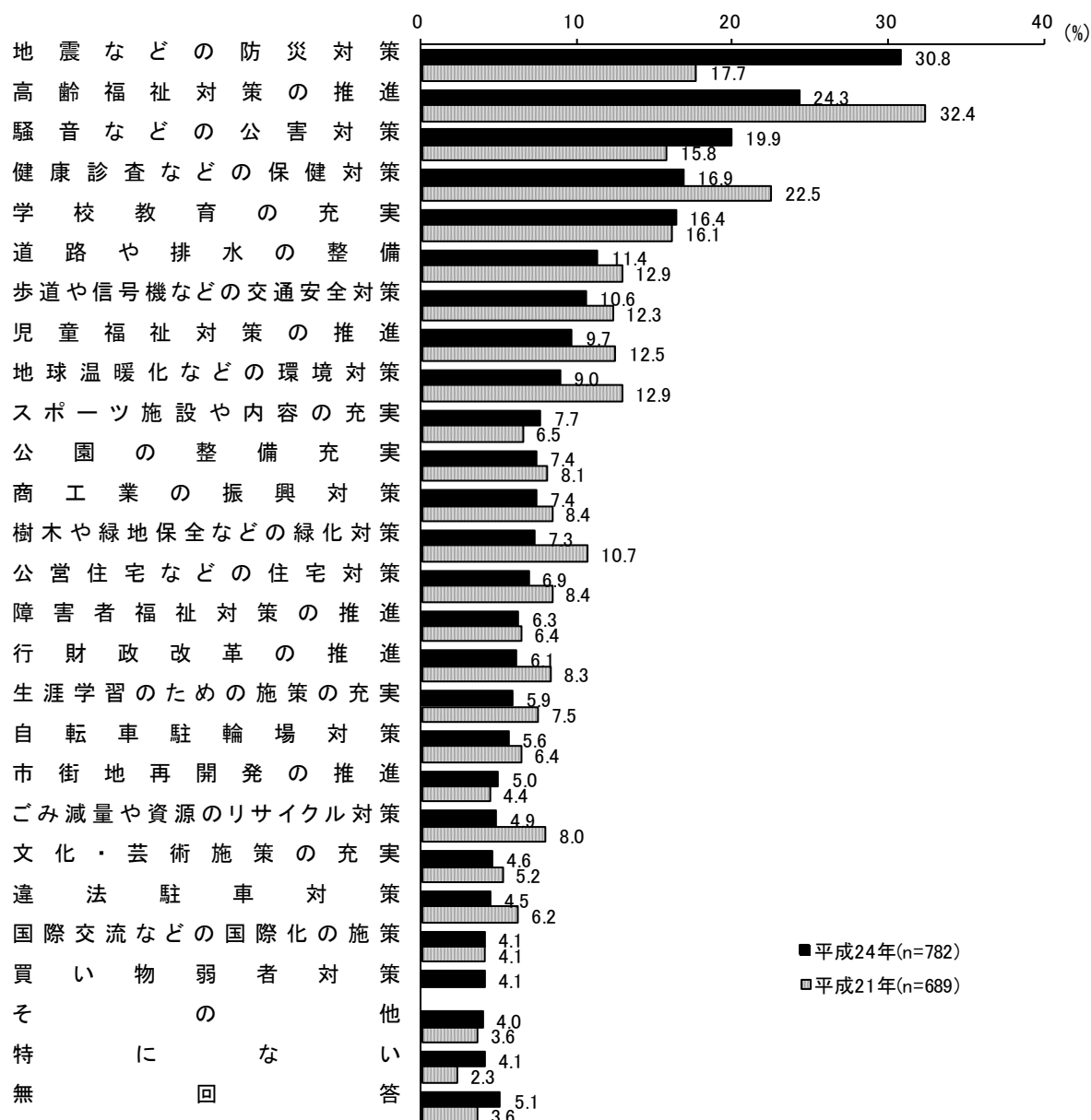


(2) 施策への要望

◇「地震などの防災対策」が約3割、「高齢福祉対策の推進」が2割台半ば近く

問 43 これからの市政に対して、あなたが特に力を入れて欲しいことがありましたら、次の中から3つまで選んでください。

<図表 1 4 - 4> 施策への要望 (複数回答)

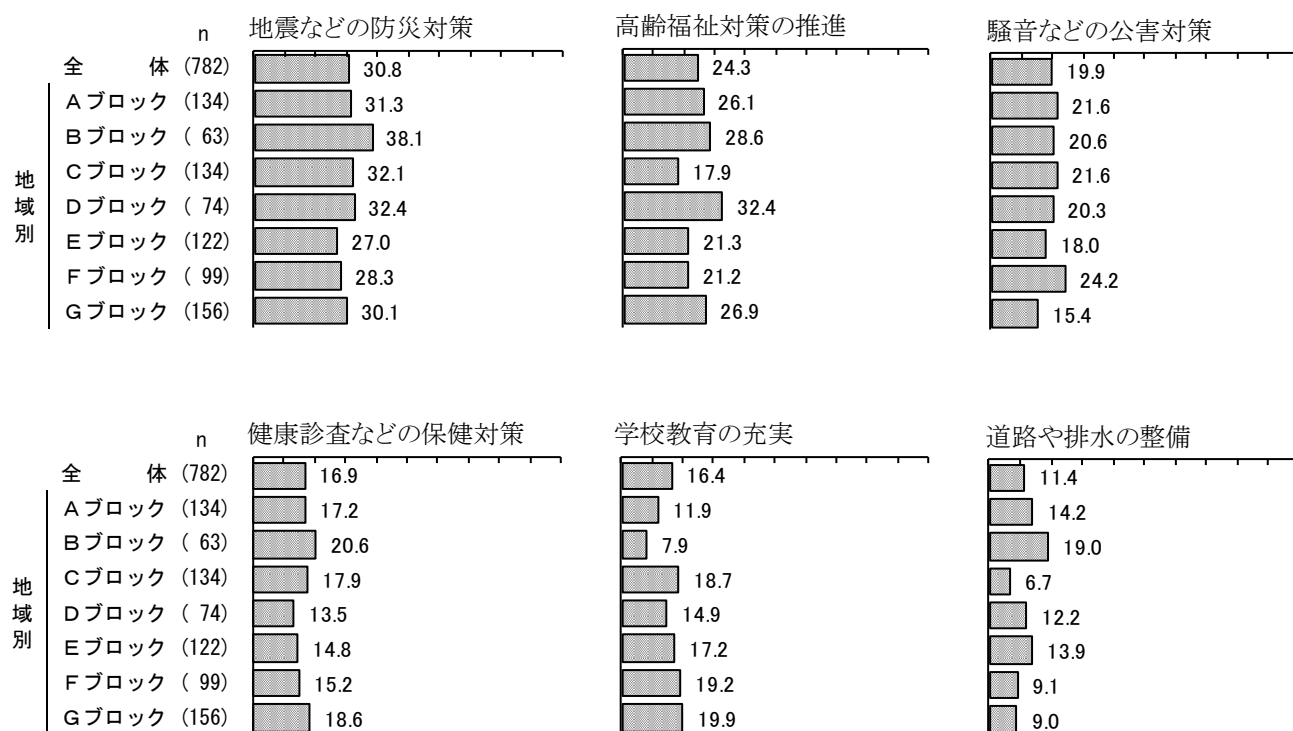


施策への要望を尋ねたところ、「地震などの防災対策」(30.8%)が最も高く、約3割となっている。次いで、「高齢福祉対策の推進」(24.3%)で2割台半ば近く、「騒音などの公害対策」(19.9%)、「健康診査などの保健対策」(16.9%)、「学校教育の充実」(16.4%)、「道路や排水の整備」(11.4%)、「歩道や信号機等の交通安全対策」(10.6%)の順となっている。(図表 1 4 - 4)

平成21年度の調査結果と比較すると、「地震などの防災対策」が13.1ポイント増加している。「高齢福祉対策の推進」は8.1ポイント、「健康診査などの保健対策」は5.6ポイントの減少となっている。(図表 1 4 - 4)

上位6項目について地域別で見ると、「地震などの防災対策」はBブロック（38.1%）で最も高く、4割近くとなっている。「高齢福祉対策の推進」はDブロック（32.4%）、「道路や排水の整備」はBブロック（19.0%）でそれぞれ高くなっている。（図表14-5）

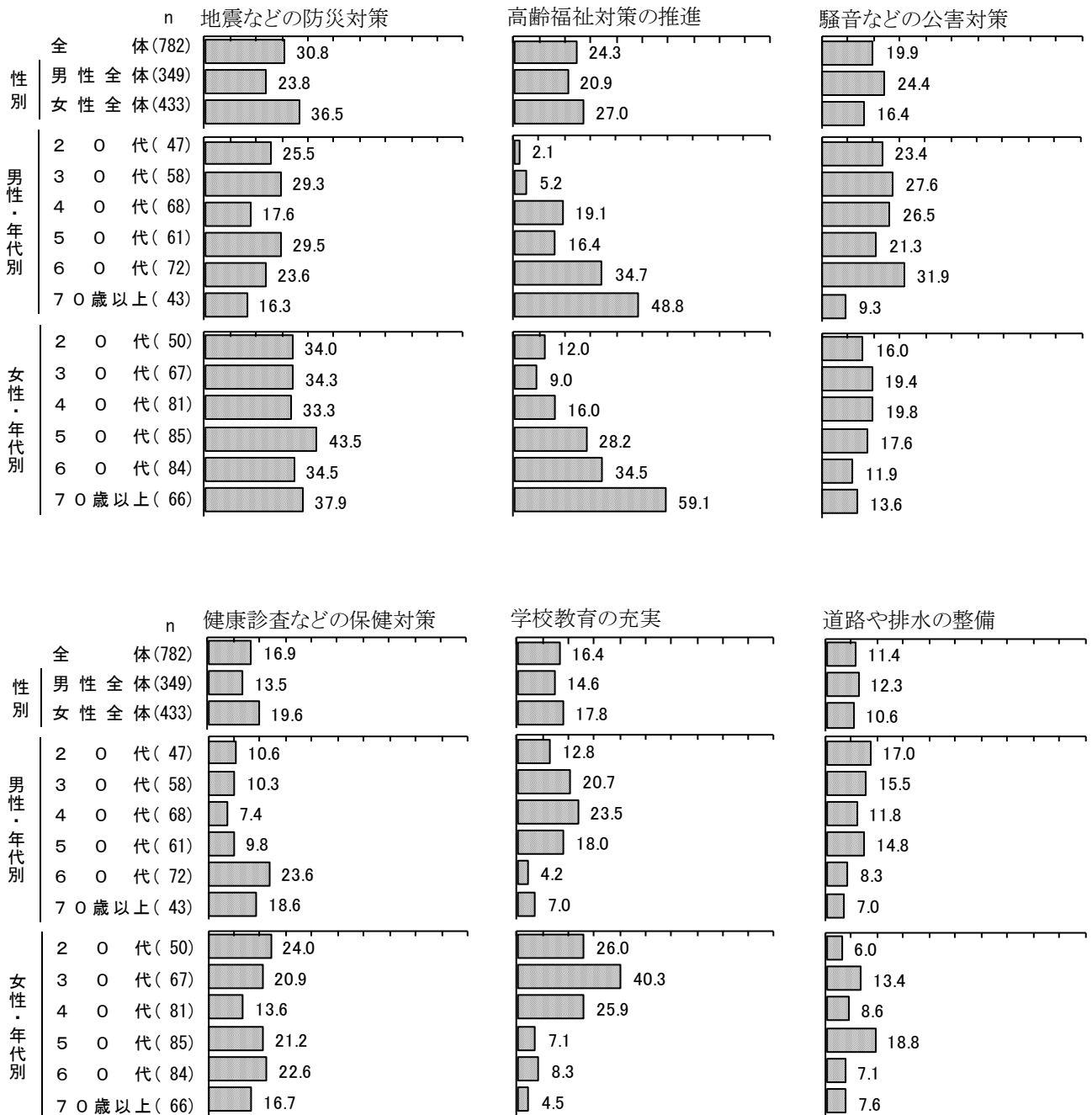
＜図表14-5＞施策への要望／地域別（上位6項目）



上位6項目について性別でみると、「地震などの防災対策」は女性全体（36.5%）が男性全体（23.8%）より12.7ポイント高くなっている。「騒音などの公害対策」は男性全体（24.4%）が女性全体（16.4%）より8.0ポイント高い。

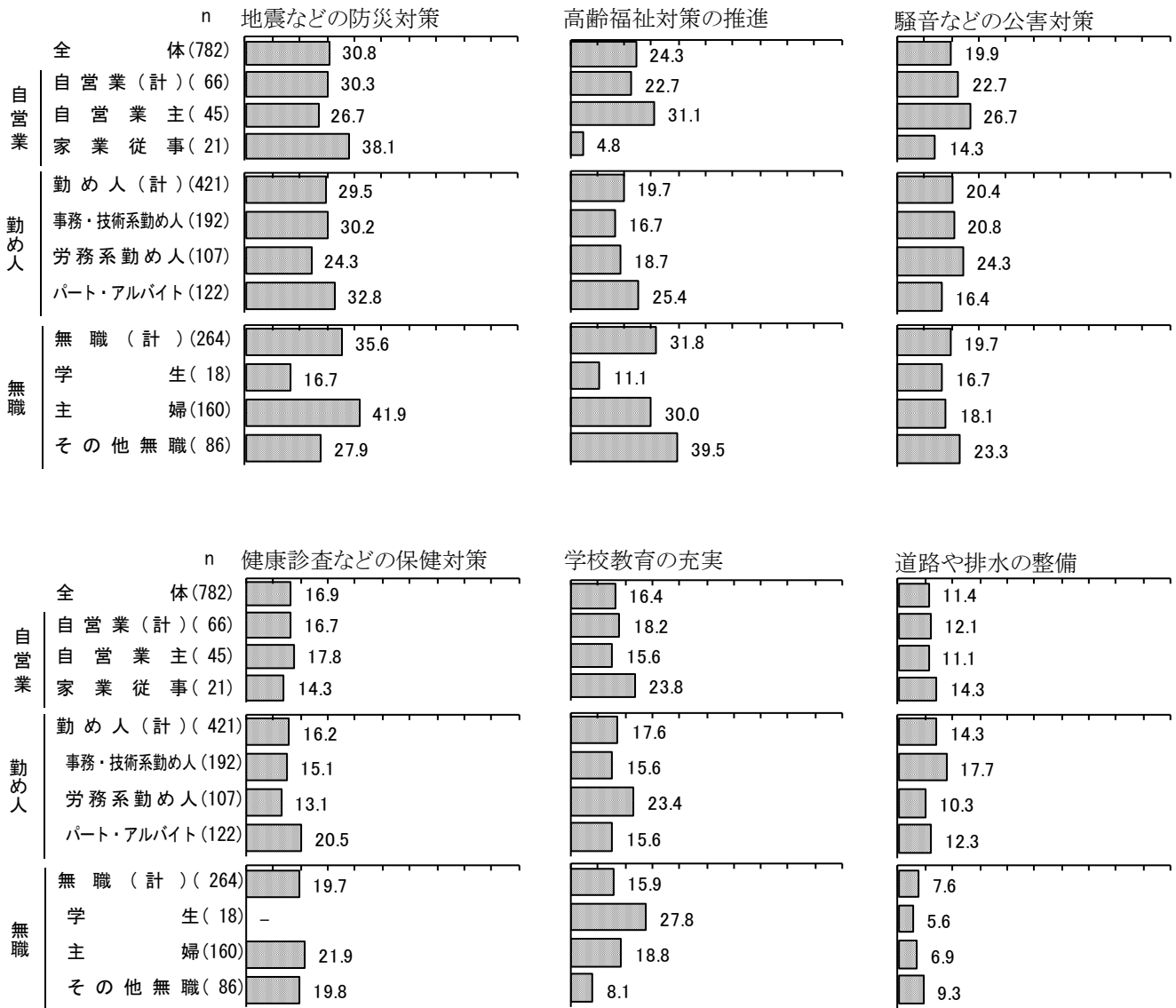
性・年代別でみると、「地震などの防災対策」は女性の50代（43.5%）で最も高く、4割台半ば近くとなっている。「高齢福祉対策の推進」は男女ともに70歳以上（男性：48.8%、女性：59.1%）で高くなっており、年代が高い層になるにつれて高くなる傾向がみられる。「学校教育の充実」は女性の30代（40.3%）で最も高くなっている。（図表14-6）

＜図表14-6＞施策への要望／性別、性・年代別（上位6項目）



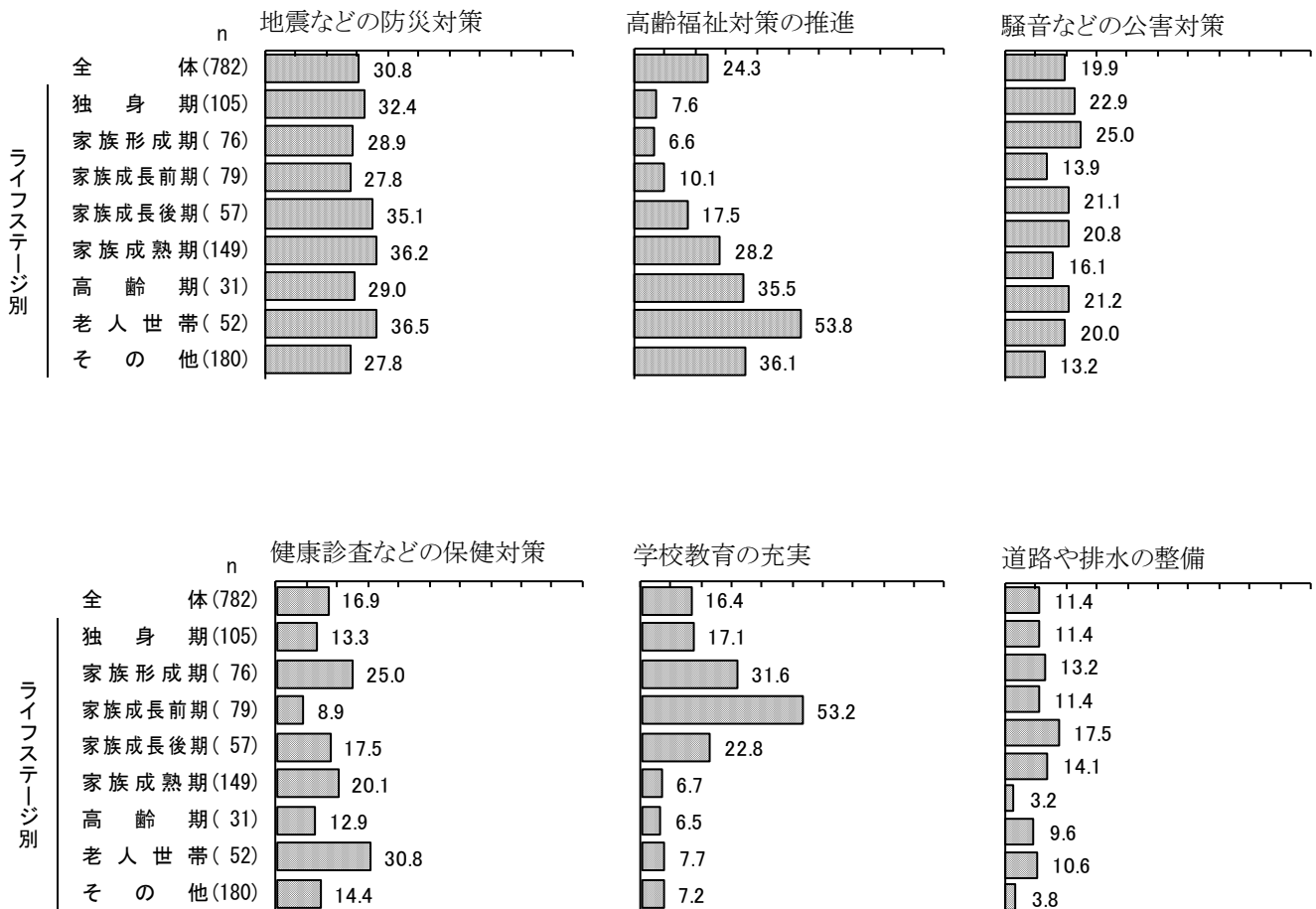
上位6項目について職業別に見ると、「高齢者福祉対策の推進」は無職（計）（31.8%）で3割強となっており、そのうち、その他無職（39.5%）では4割弱と高くなっている。（図表14-7）

＜図表14-7＞施策への要望／職業別（上位6項目）



上位6項目についてライフステージ別でみると、「高齢福祉対策の推進」は老人世帯（53.8%）で、「学校教育の充実」は家族成長前期（53.2%）で最も高く、それぞれ5割以上となっている。（図表14-8）

＜図表14-8＞施策への要望／ライフステージ別（上位6項目）

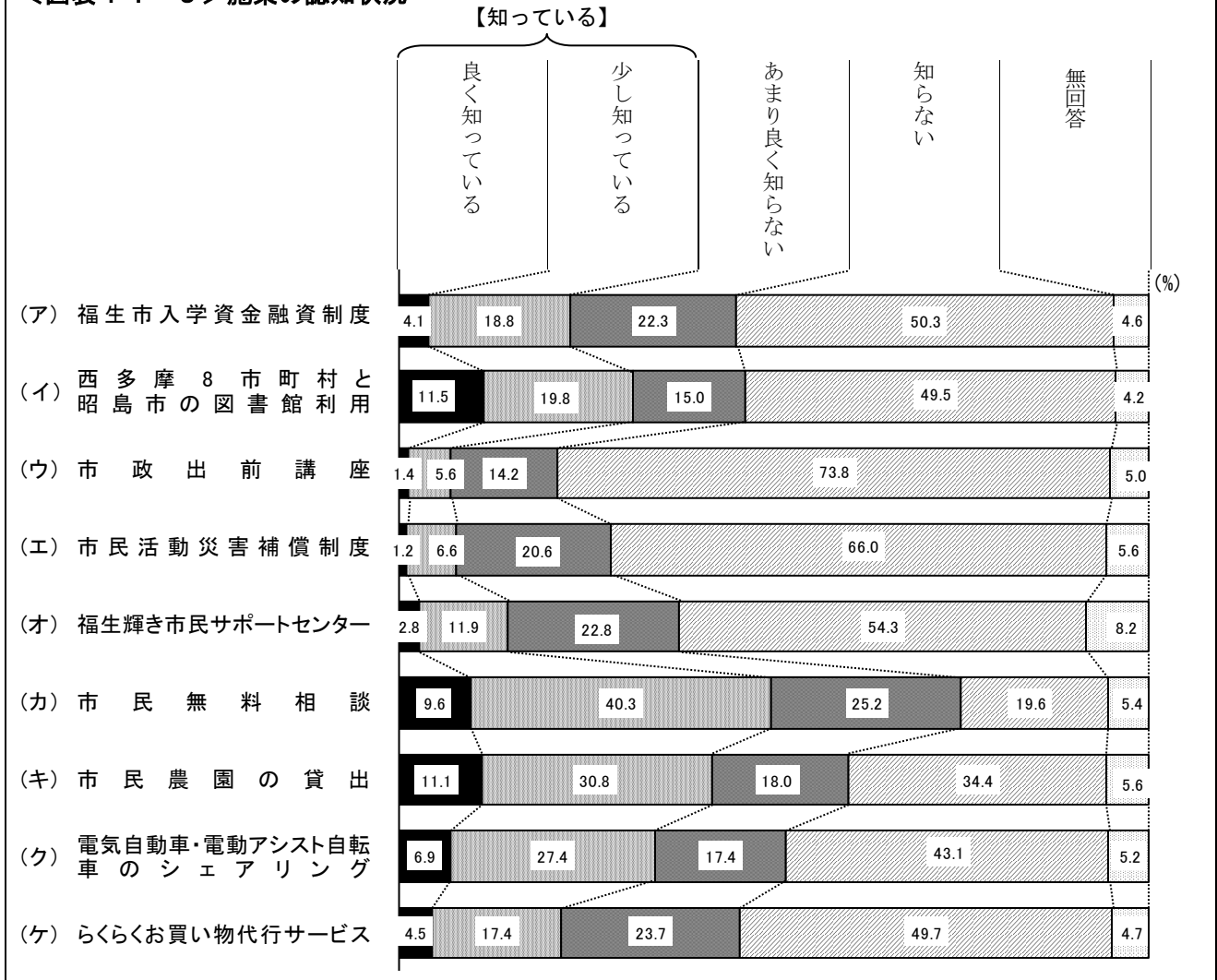


(3) 施策の認知状況

◇『市民無料相談』で「良く知っている」、「少し知っている」を合わせた【知っている】が5割弱

問 44 あなたは次の市の施策についてご存知ですか。下の表の(ア)から(ケ)の項目について、それぞれ1つずつ選んで、下の表の番号に○をつけてください。

<図表 14-9> 施策の認知状況



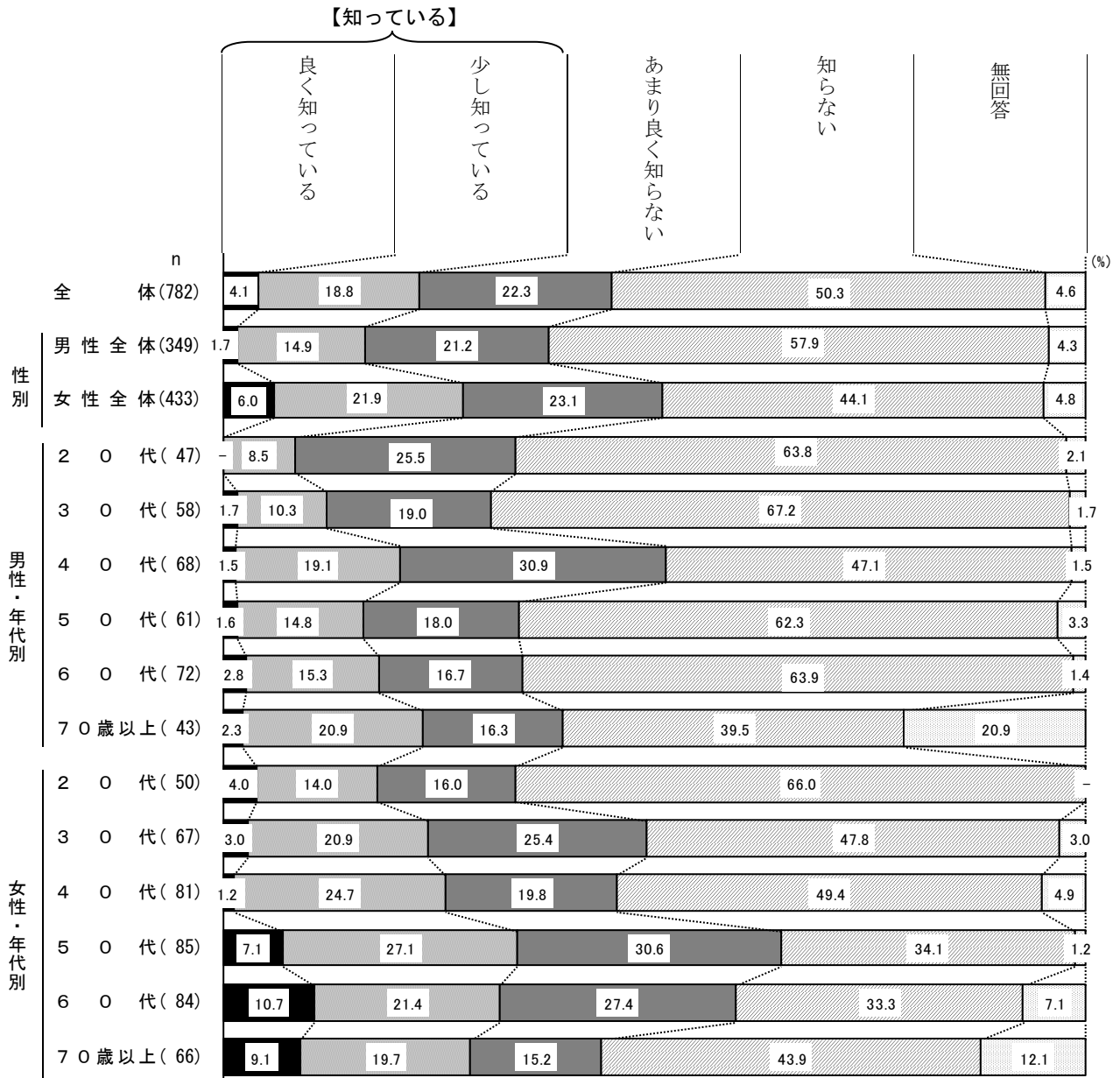
施策の認知状況について尋ねたところ、「良く知っている」と「少し知っている」を合わせた【知っている】は、『市民無料相談』（49.9%）で最も高く、5割弱となっている。次いで、『市民農園の貸出』（41.9%）、『電気自動車・電動アシスト自転車のシェアリング』（34.3%）の順となっている。「知らない」は、『市政出前講座』（73.8%）で最も高く、次いで『市民活動災害補償制度』（66.0%）、『福生輝き市民サポートセンター』（54.3%）、『福生市入学資金融資制度』（50.3%）の順となっており、それぞれ5割以上となっている。（図表 14-9）

(ア) 福生市入学資金融資制度

性別でみると、【知っている】は女性全体（27.9%）が男性全体（16.6%）より11.3ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、【知っている】は女性の50代（34.2%）、60代（32.1%）で3割以上となっており、それ以外の年代では3割以下に留まっている。「知らない」は男性の30代（67.2%）で最も高い。（図表14-10）

<図表14-10>福生市入学資金融資制度／性別、性・年代別

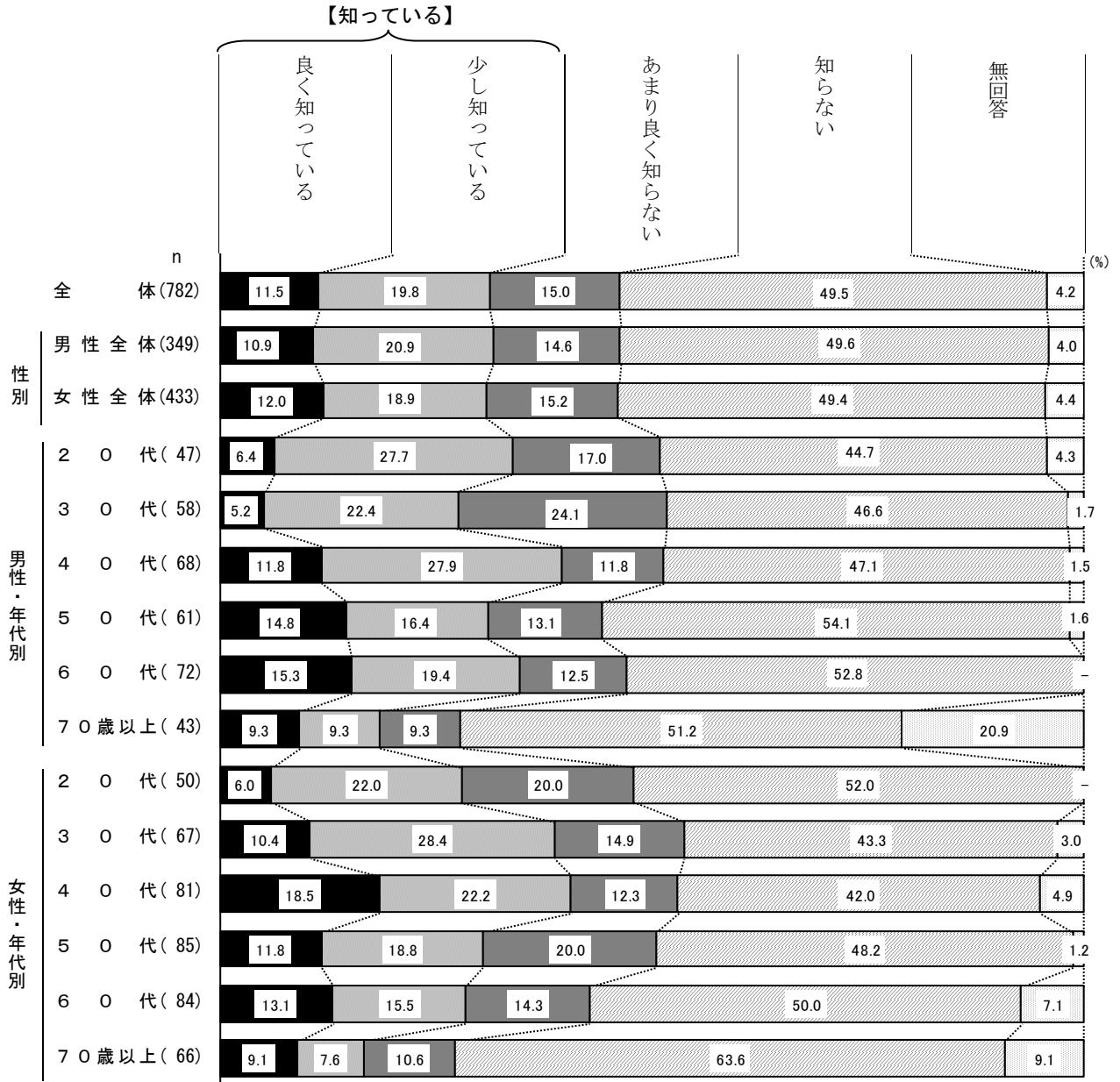


(イ) 西多摩8市町村と昭島市の図書館利用

性別でみると、男女で大きな差異はみられない。

性・年代別でみると、【知っている】は女性の40代(40.7%)で最も高く、次いで男性の40代(39.7%)、女性の30代(38.8%)となっている。(図表14-11)

<図表14-11>西多摩8市町村と昭島市の図書館利用／性別、性・年代別

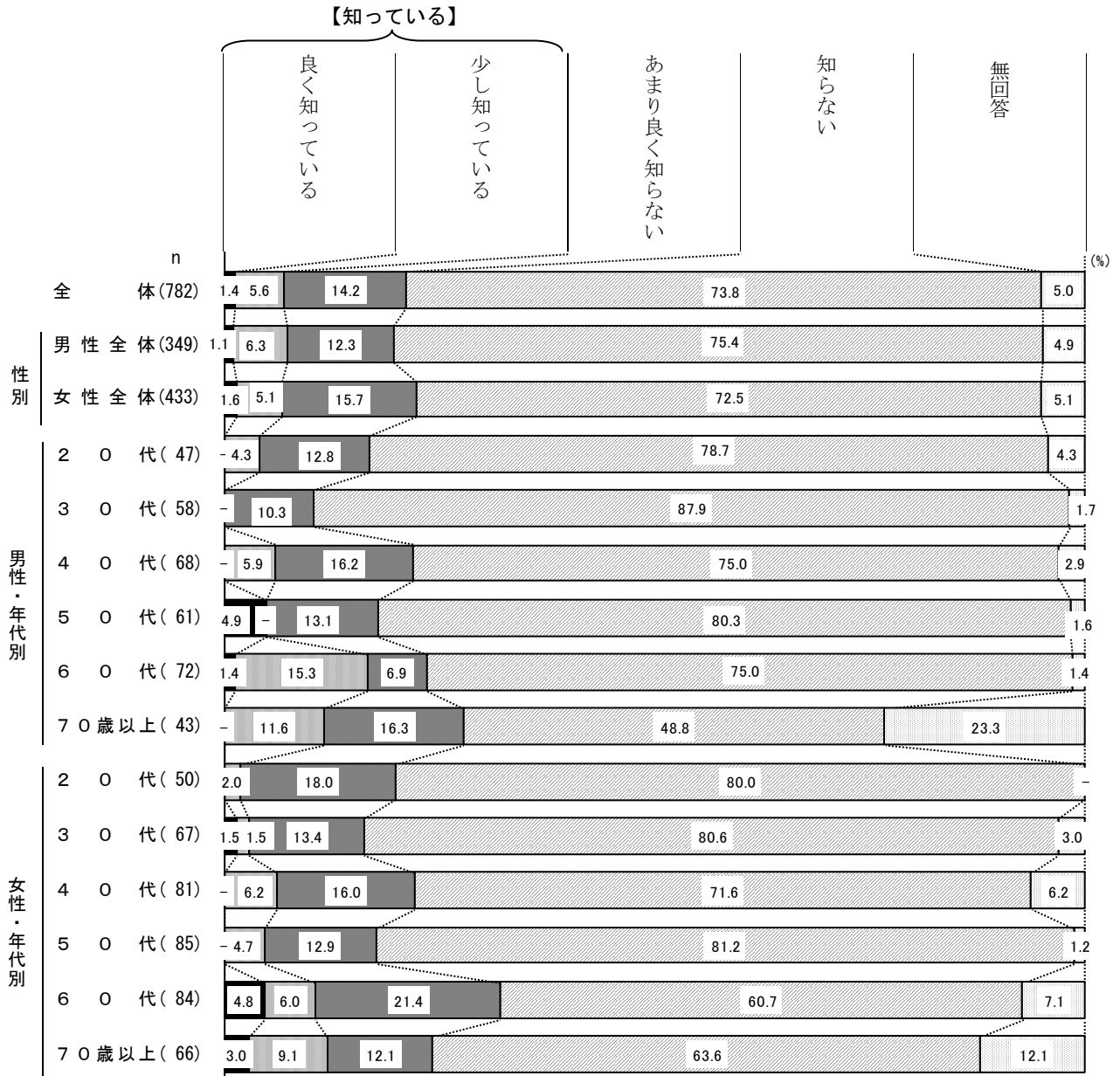


(ウ) 市政出前講座

性別でみると、男女で大きな差異はみられない。

性・年代別でみると、【知っている】は、男性の60代（16.7%）で最も高く、男女ともに全ての年代で2割以下となっている。（図表14-12）

<図表14-12> 市政出前講座／性別、性・年代別

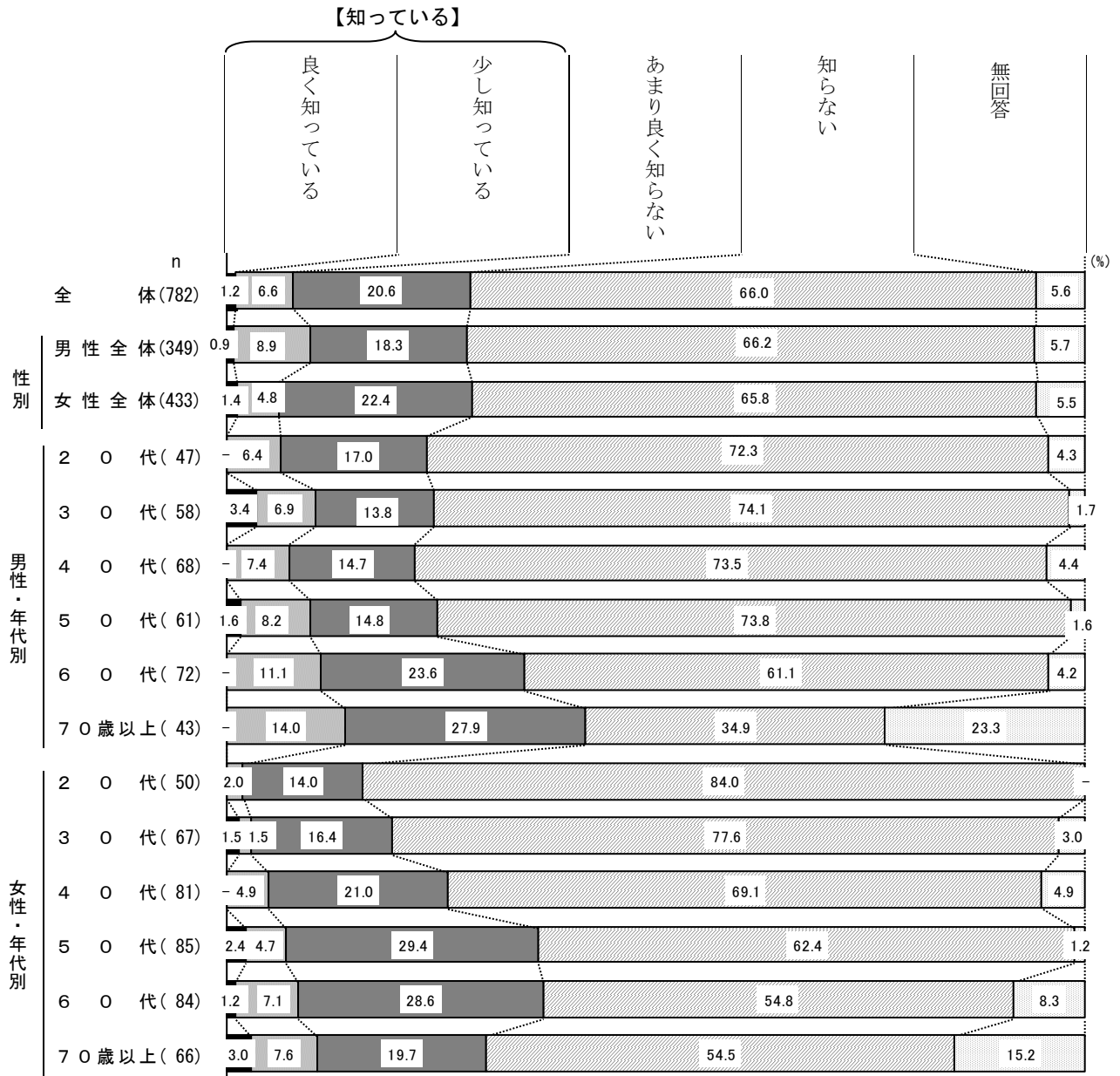


(エ) 市民活動災害補償制度

性別でみると、男女で大きな差異はみられない。

性・年代別でみると、【知っている】は男性の70歳以上（14.0%）で最も高くなっており、男女ともに年代が高い層になるにつれて高くなる傾向がみられる。（図表14-13）

<図表14-13>市民活動災害補償制度／性別、性・年代別

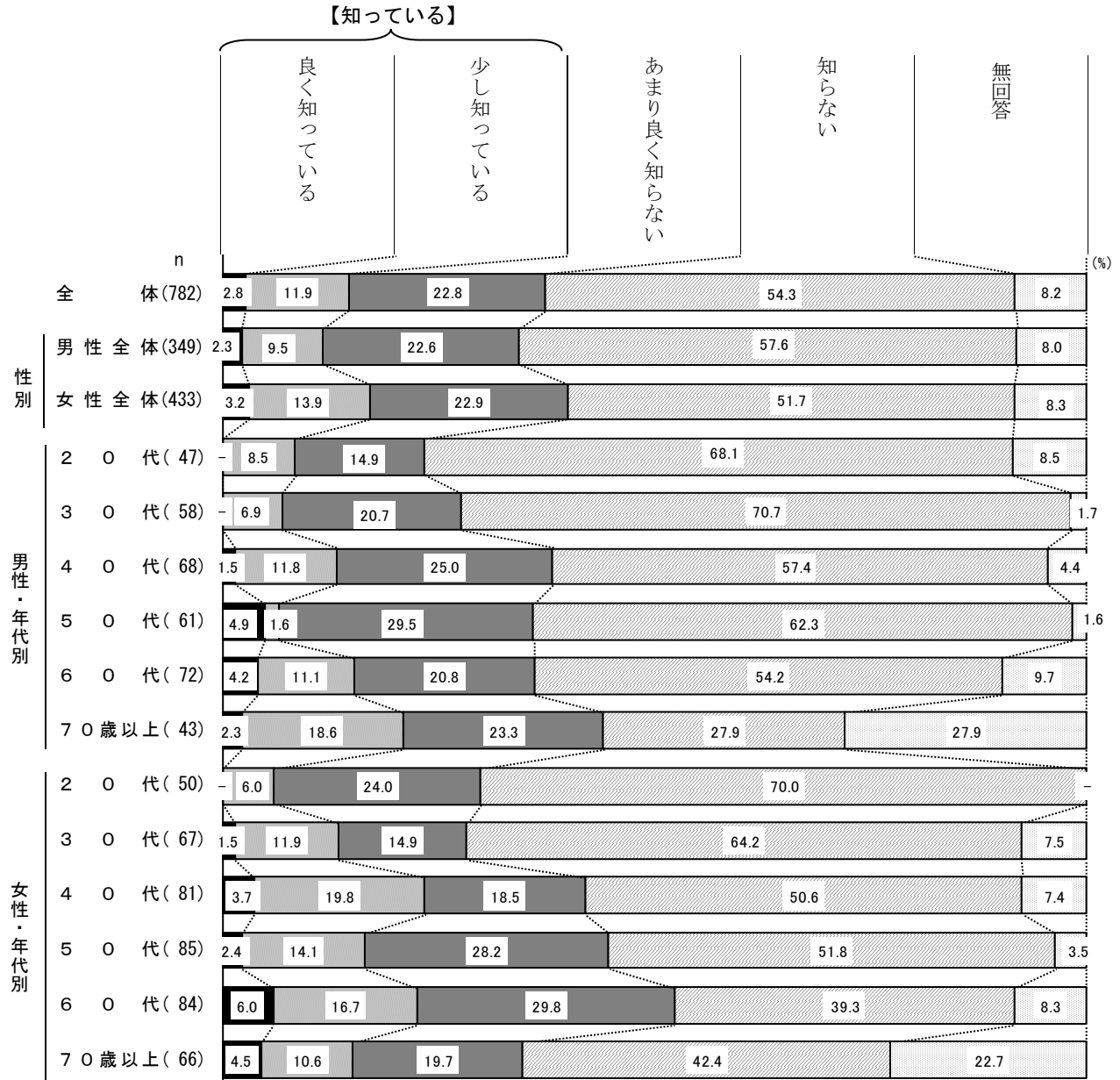


(オ) 福生輝き市民サポートセンター

性別でみると、【知っている】は女性全体（17.1%）が男性全体（11.8%）より5.3ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、【知っている】は女性の40代（23.5%）、60代（22.7%）、男性の70歳以上（20.9%）の順に高く、それぞれ2割以上となっている。（図表14-14）

<図表14-14>福生輝き市民サポートセンター／性別、性・年代別

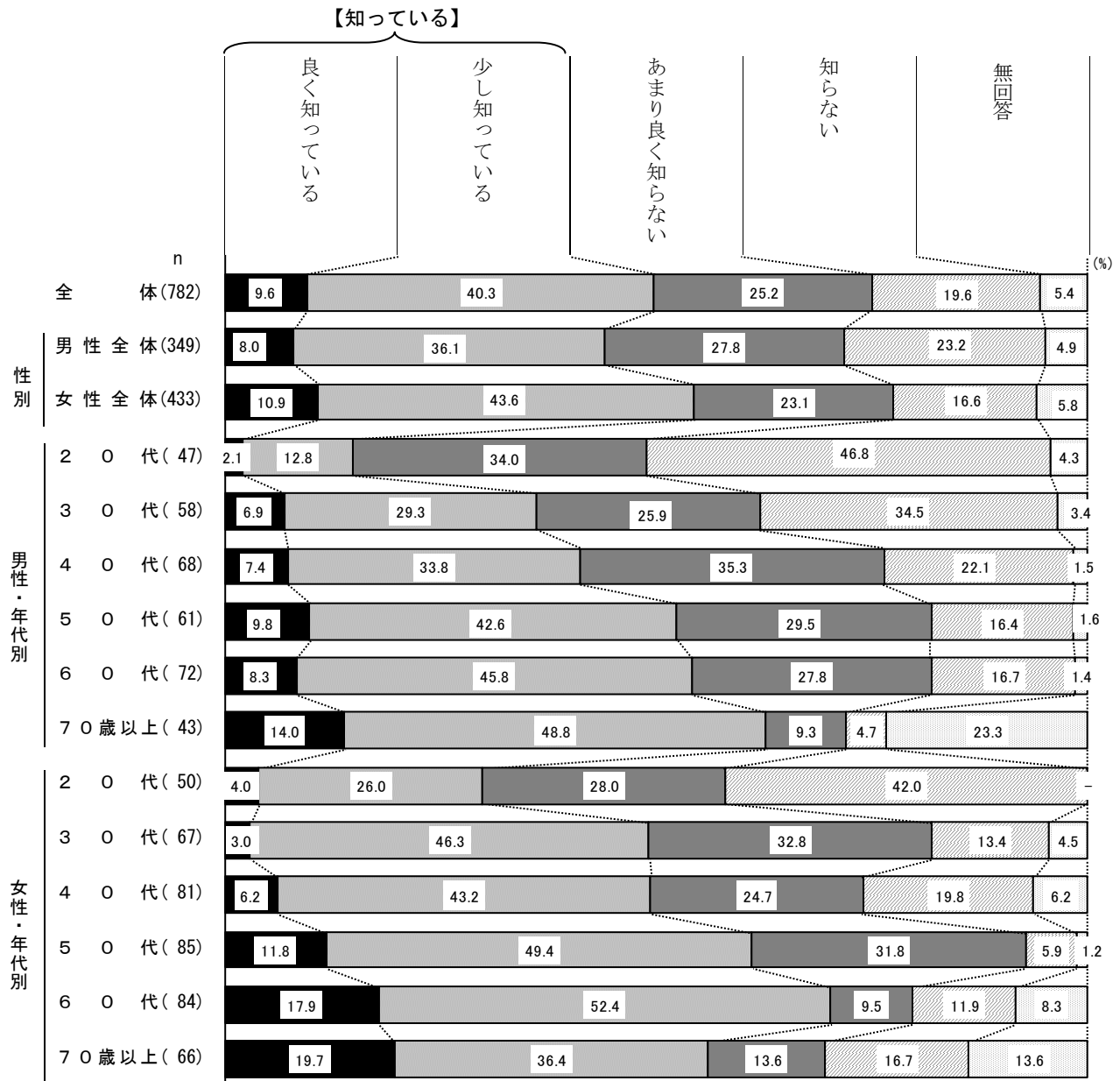


(カ) 市民無料相談

性別で見ると、【知っている】は女性全体（54.5%）が男性全体（44.1%）より10.4ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、【知っている】は女性の60代（70.3%）、男性の70歳以上（62.8%）の順に高く、男女ともに年代が高い層になるにつれて高くなる傾向がみられる。「知らない」は男女ともに20代（男性：46.8%、女性：42.0%）で最も高く、それぞれ4割以上となっている。（図表14-15）

<図表14-15>市民無料相談／性別、性・年代別

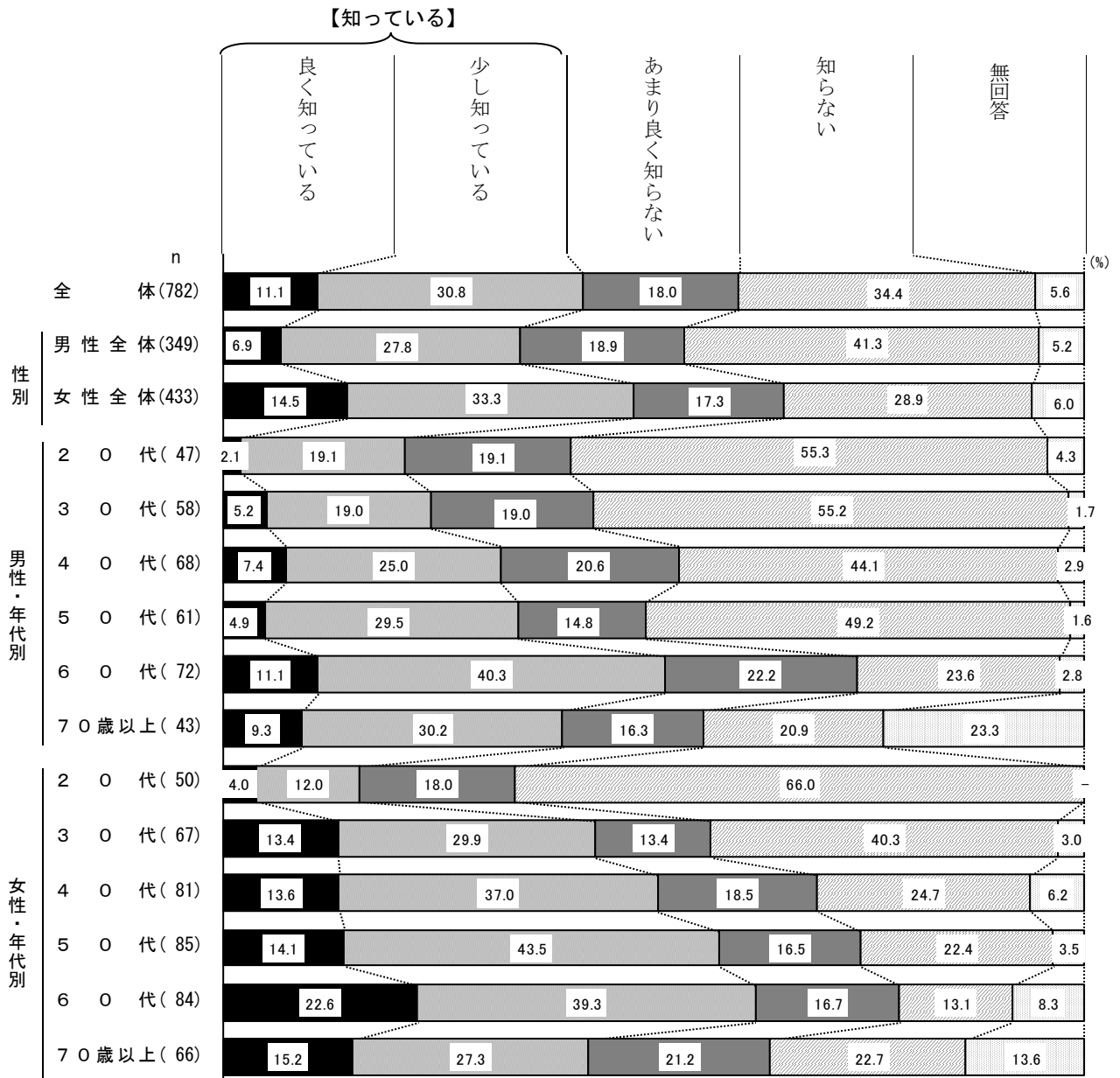


(キ) 市民農園の貸出

性別で見ると、【知っている】は女性全体（47.8%）が男性全体（34.7%）より13.1ポイント高くなっており、そのうち「良く知っている」は女性全体（14.5%）が男性全体（6.9%）より7.6ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、【知っている】は女性の60代（61.9%）で最も高く、男女ともに年代が高い層になるにつれて高くなる傾向がみられる。「知らない」は女性の20代（66.0%）で最も高い。（図表14-16）

<図表14-16>市民農園の貸出／性別、性・年代別

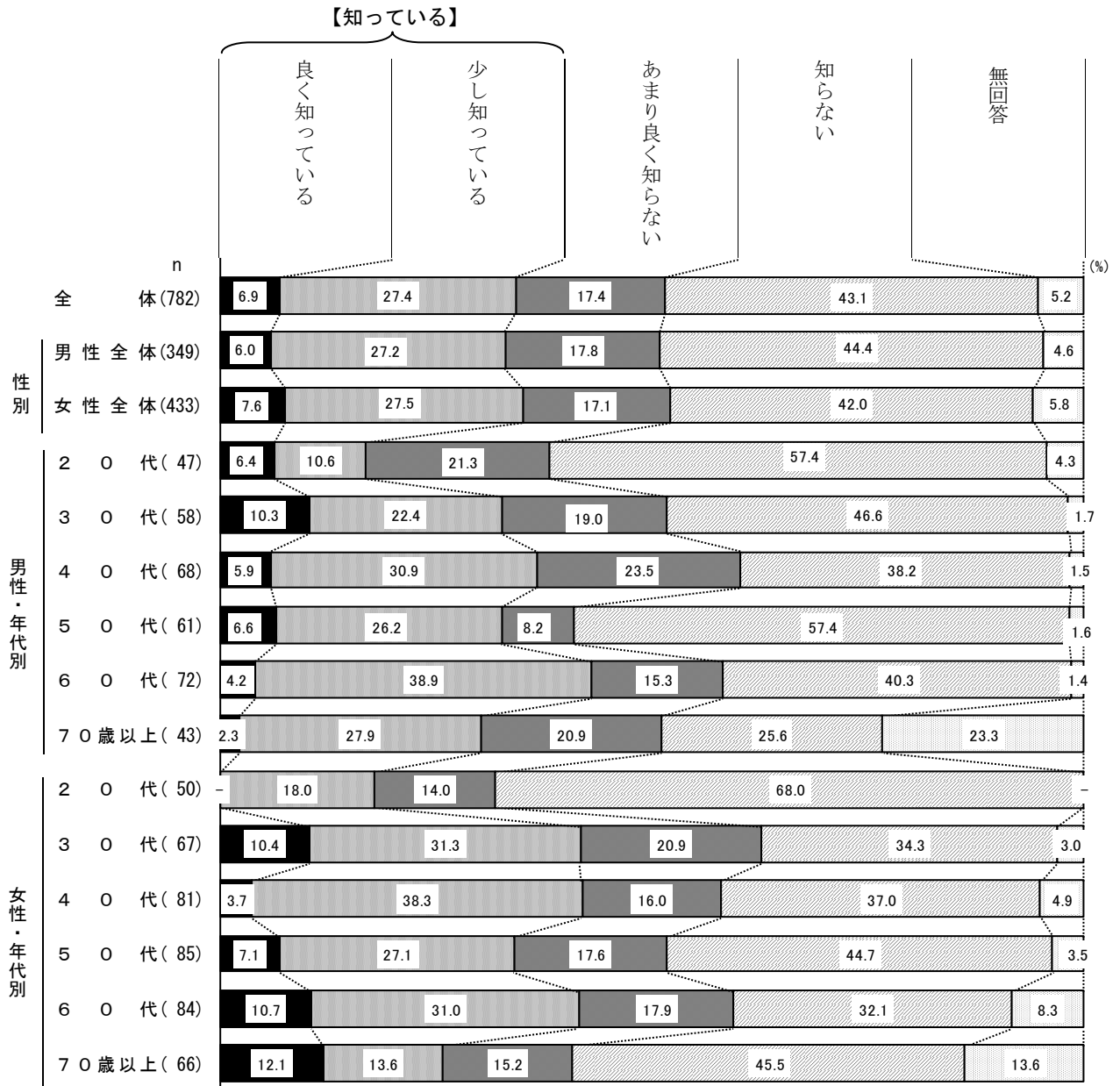


(ク) 電気自動車・電動アシスト自転車のシェアリング

性別でみると、男女で大きな差異はみられない。

性・年代別でみると、【知っている】は男性の60代(43.1%)で最も高く、次いで女性の40代(42.0%)、30代(41.7%)、60代(41.7%)の順となっており、それぞれ4割以上を占めている。「知らない」は男女ともに20代(男性：57.4%、女性：68.0%)で最も高い。(図表14-17)

<図表14-17>電気自動車・電動アシスト自転車のシェアリング/性別、性・年代別



(ケ) らくらくお買い物代行サービス

性別でみると、【知っている】は女性全体（26.3%）が男性全体（16.3%）より10ポイント高い。

性・年代別でみると、【知っている】は女性の60代（31.0%）で最も高く、次いで女性の30代（29.9%）、70歳以上（28.8%）、男性の70歳以上（27.9%）となっている。「知らない」は女性の20代（70.0%）で最も高く、7割を占めている。（図表14-18）

<図表14-18> らくらくお買い物代行サービス／性別、性・年代別

